

# 米に関するマンスリーレポート

(平成28年12月号)



米粉クリスマスケーキ

#### 【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

#### 【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあります。

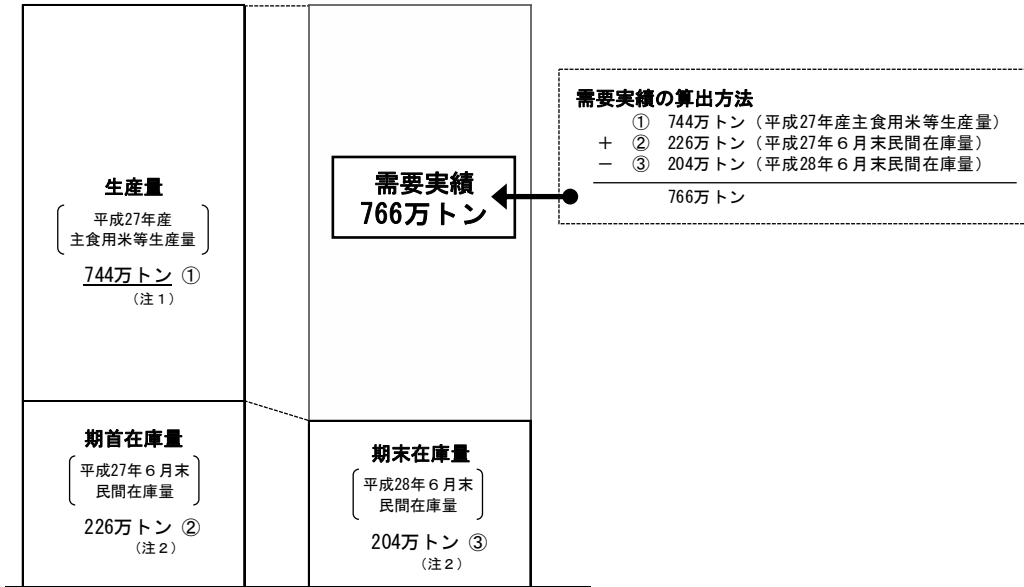
農林水産省

# 今月の特集①

## 主食用米等の需給見通し（米の基本指針（平成28年11月28日））

### （1）平成27/28年の需要実績（確定値）

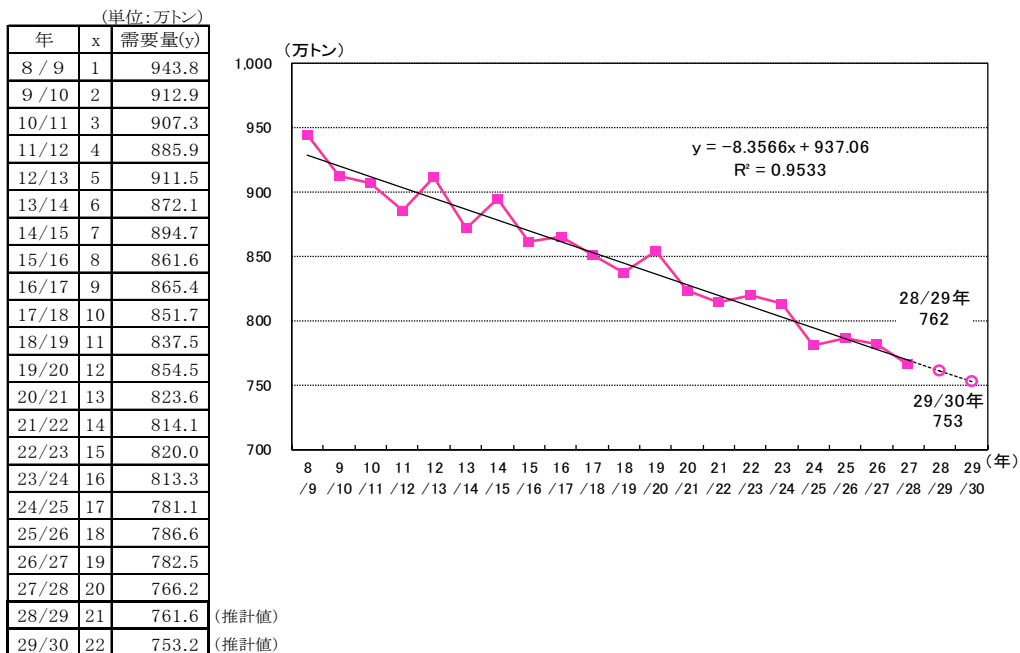
- 平成27/28年（平成27年7月から平成28年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、766万トンとなった。



注1：主食用米等生産量は、平成27年産米の水稲収穫量（主食用）（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）。  
 注2：6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。

### （2）平成28/29年及び平成29/30年の需要見通し（推計値）

- 需要量について平成8/9年から平成27/28年までの需要実績を用いてトレンドで算出すると、平成28/29年は762万トン、平成29/30年は753万トンと見通される。



### (3) 平成28/29年及び平成29/30年の主食用米等の需給見通し

#### 平成28/29年の主食用米等の需給見通し

- 「平成28/29年の主食用米等の需給見通し」については、以下のとおり。

平成28年6月末民間在庫量（実績）	204万トン	①
平成28年産主食用米等生産量（実績）	750万トン	②
平成28/29年主食用米等需要量（見通し）	754万トン ※	③
平成29年6月末民間在庫量（見通し）	200万トン	④=①+②-③

※ 平成28/29年については、相対取引価格が上昇傾向にあることから、需要量に及ぼす影響を踏まえ、トレンドにより算出した762万トンから8万トン低い754万トンと見通す。

#### 平成29/30年の主食用米等の需給見通し

- 「平成29/30年の主食用米等の需給見通し」については、表のとおり。

		(単位：万トン)	
平成29年6月末民間在庫量	A	200	200
平成29年産主食用米等生産量	B	735 ※1 (生産数量目標)	733 ※2 (自主的取組参考値)
平成29/30年主食用米等供給量計	C = A + B	935	933
平成29/30年主食用米等需要量	D	753	753
平成30年6月末民間在庫量	E = C - D	182	180

※1 **生産数量目標**：近年のトレンドとして需要が毎年概ね8万トン減少していることを勘案し、平成28年産米の生産数量目標743万トンから8万トンを控除した735万トンと設定。

#### 【生産数量目標の推移】

		(単位：万トン)								
年産		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
生産数量目標		815	813	795	793	791	765	751	743	735
	前年差	0	▲2	▲18	▲2	▲2	▲26	▲14	▲8	▲8

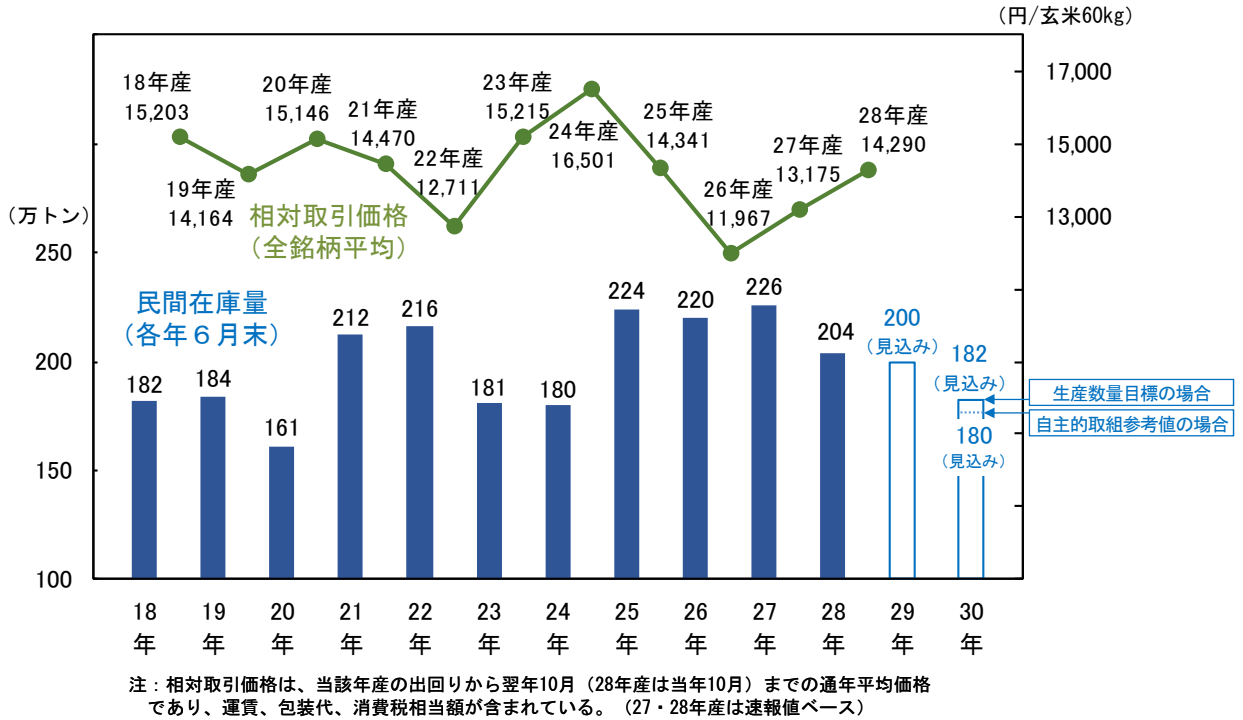
※2 **自主的取組参考値**：平成30年6月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準（180万トン）となるものとして、733万トンと設定。

#### 【民間在庫量（6月末）の推移】

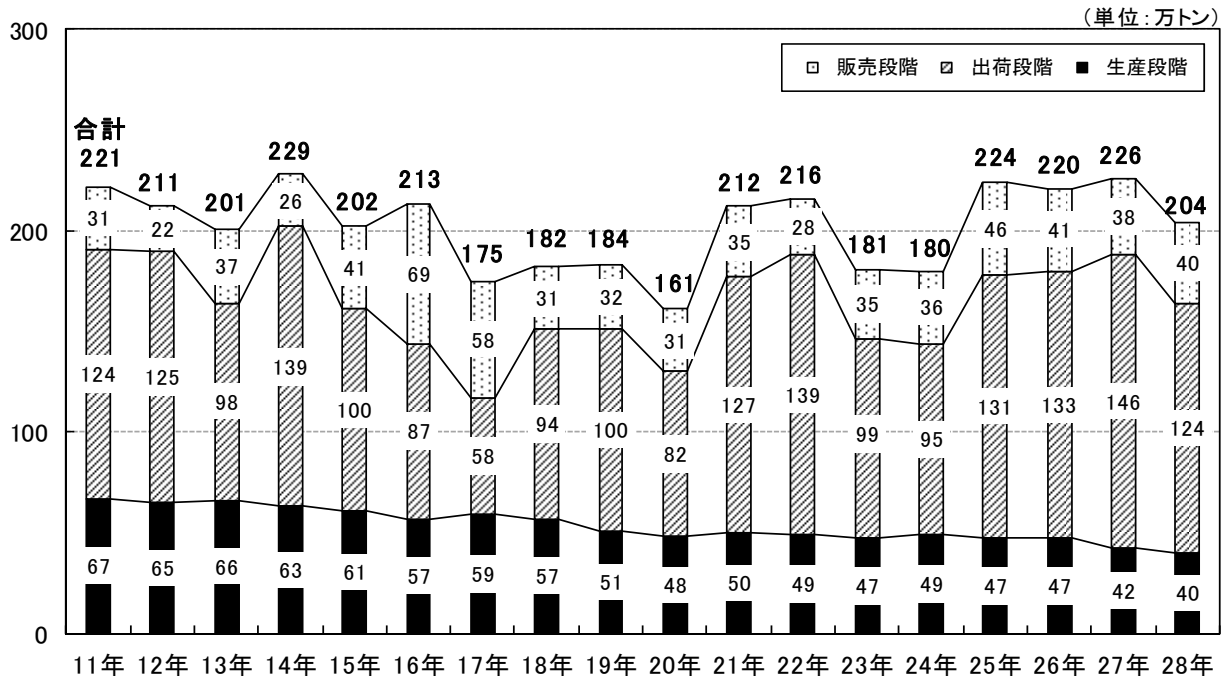
		(単位：万トン)								
		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	
民間在庫量		212	216	181	180	224	220	226	204	

(参考) 相対取引価格と民間在庫量

- 相対取引価格は、その年々の需給状況により変動しているが、6月末における民間在庫量（生産、出荷、販売段階における在庫量）の水準もその要因の一つ。



(4) 民間流通における6月末在庫量の推移



- 注：1 うるち玄米及びもち玄米の値である。  
 2 各年の民間在庫量において、  
 ① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。  
 ② 平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。  
 ③ 平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。  
 なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量である。  
 3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。  
 4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## 今月の特集②

## 平成29年産米の都道府県別の生産数量目標等

単位：トン、ha)

都道府県	27年産生産数量目標 のシェア(注1)	29年産生産数量目標		29年産自主的取組参考値	
			面積換算値		面積換算値
全国計	100%	735万トン	139万ha	733万トン	138万ha
北海道	547,330 / 7,510,000	535,669	99,015	534,212	98,745
青森	242,460 / 7,510,000	237,294	40,494	236,649	40,384
岩手	271,210 / 7,510,000	265,432	49,706	264,710	49,571
宮城	348,620 / 7,510,000	341,193	64,255	340,264	64,080
秋田	417,540 / 7,510,000	408,644	71,317	407,532	71,123
山形	344,500 / 7,510,000	337,160	56,666	336,243	56,511
福島	339,550 / 7,510,000	332,316	61,313	331,412	61,146
茨城	337,370 / 7,510,000	330,182	63,012	329,284	62,840
栃木	298,690 / 7,510,000	292,326	54,134	291,531	53,987
群馬	75,670 / 7,510,000	74,058	14,961	73,856	14,920
埼玉	151,270 / 7,510,000	148,047	30,214	147,644	30,131
千葉	246,490 / 7,510,000	241,239	45,091	240,582	44,969
東京	770 / 7,510,000	754	183	752	183
神奈川	14,400 / 7,510,000	14,093	2,859	14,055	2,851
新潟	521,290 / 7,510,000	510,184	94,304	508,796	94,047
富山	185,650 / 7,510,000	181,695	33,710	181,200	33,618
石川	123,630 / 7,510,000	120,996	23,313	120,667	23,250
福井	125,460 / 7,510,000	122,787	23,658	122,453	23,594
山梨	27,430 / 7,510,000	26,846	4,908	26,773	4,895
長野	194,000 / 7,510,000	189,867	30,574	189,350	30,491
岐阜	111,270 / 7,510,000	108,899	22,315	108,603	22,255
静岡	82,920 / 7,510,000	81,153	15,576	80,933	15,534
愛知	134,970 / 7,510,000	132,094	26,054	131,735	25,983
三重	143,510 / 7,510,000	140,453	28,091	140,070	28,014
滋賀	160,450 / 7,510,000	157,032	30,315	156,604	30,232
京都	75,930 / 7,510,000	74,312	14,542	74,110	14,503
大阪	26,220 / 7,510,000	25,661	5,184	25,592	5,170
兵庫	180,440 / 7,510,000	176,596	35,178	176,115	35,083
奈良	41,690 / 7,510,000	40,802	7,954	40,691	7,932
和歌山	34,850 / 7,510,000	34,108	6,891	34,015	6,872
鳥取	66,110 / 7,510,000	64,702	12,588	64,525	12,554
島根	90,000 / 7,510,000	88,083	17,305	87,843	17,258
岡山	158,550 / 7,510,000	155,172	29,500	154,750	29,420
広島	129,970 / 7,510,000	127,201	24,321	126,855	24,255
山口	108,760 / 7,510,000	106,443	21,120	106,153	21,062
徳島	58,540 / 7,510,000	57,293	12,087	57,137	12,054
香川	70,240 / 7,510,000	68,744	13,776	68,556	13,739
愛媛	73,920 / 7,510,000	72,345	14,527	72,148	14,488
高知	50,070 / 7,510,000	49,003	10,699	48,870	10,670
福岡	182,470 / 7,510,000	178,582	35,932	178,097	35,834
佐賀	138,420 / 7,510,000	135,471	26,102	135,102	26,031
長崎	62,850 / 7,510,000	61,511	12,842	61,344	12,807
熊本	189,310 / 7,510,000	185,277	36,116	184,773	36,018
大分	117,690 / 7,510,000	115,183	22,945	114,869	22,882
宮崎	93,600 / 7,510,000	91,606	18,469	91,357	18,419
鹿児島	111,070 / 7,510,000	108,704	22,553	108,408	22,491
沖縄	2,860 / 7,510,000	2,799	906	2,791	903

注1：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成27年11月）において、平成27年産米の都道府県別のシェアを固定し、当該シェアで按分して平成29年産米の都道府県別の生産数量目標及び自主的取組参考値とする旨を公表済み。

注2：端数処理の結果、合計値は一致しない。

# 今月の特集③

## 主食用米（生産数量目標の枠内）のうち加工原材料用向け販売数量及び加工用米生産量の状況

- ・ 全国の生産数量目標の枠内で生産された米穀のうち加工原材料用向けに販売された数量は、集出荷業者からの聞き取りによれば、約13万ト。。
- ・ また、加工用米の生産量は、約27万ト。

(単位:ト)

	26年産	
	主食用米（生産数量目標の枠内）のうち加工原材料用向け販売数量	加工用米の生産量
北海道	33,900	19,454
青森県	400	9,885
岩手県	5,000	9,095
宮城県	7,800	5,142
秋田県	4,900	59,404
山形県	1,900	21,465
福島県	4,100	2,708
茨城県	300	10,578
栃木県	800	11,698
群馬県	30	6,153
埼玉県	2,300	1,025
千葉県	500	6,893
東京都		
神奈川県		
新潟県	21,600	36,242
富山県	1,500	6,471
石川県	2,000	4,569
福井県	200	4,057
山梨県	10	224
長野県	300	4,912
岐阜県	1,000	1,245
静岡県	300	676
愛知県	200	2,325
三重県	20	1,493
滋賀県	1,900	6,684
京都府	500	1,672
大阪府		
兵庫県	200	3,588
奈良県	200	1
和歌山県		
鳥取県		1,231
島根県	800	1,627
岡山県	2,400	2,884
広島県	2,900	1,644
山口県	600	3,411
徳島県	20	170
香川県	2,300	145
愛媛県	900	
高知県	400	191
福岡県	3,000	2,163
佐賀県	21,300	753
長崎県	200	62
熊本県	700	4,995
大分県	200	496
宮崎県		5,495
鹿児島県		3,443
沖縄県		
計	13万	27万

資料：農林水産省とりまとめ

注：「主食用米から加工原材料用向け」については、集出荷業者等が米加工業者に販売した生産数量目標の枠内で生産された米の数量であり、全国生産出荷団体、都道府県出荷団体、認定方針作成者等からの聞き取りによるもの（もち米を含み、酒造好適米を除く）。なお、集出荷業者等が米卸等に販売し、当該米卸が米加工業者に販売した数量は含まれない。

# 今の特集④

## 27米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

### 27米穀年度（平成26年11月～27年10月）における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 清酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の平成27米穀年度における使用量は対前年と同程度の約95万トン程度（推計）。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約8割。残りの約2割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 加工用米の生産量及び特定米穀の流通量が増加し、国産原料米を調達しやすい環境にあったことから、味噌を中心に、外国産原料からの転換が進んだところ。

#### <うるち米>

（単位：万トン）

用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	12 (9)	10		3			25 (9)
米菓用	1	2		7	2	1	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	5					10
味噌用		1		7	1		9
焼酎用 (泡盛含む)		1		5	2		8
米穀粉用		1	2	2	2	1	8
その他用	1			2	1		4
合計	18	22	2	24	9	2	77

#### <もち米>

（単位：万トン）

用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	3	2				2	7
米菓用	2	1		1	1	2	6
米穀粉用	1					1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	7	4		1	1	6	19

- 注1： 清酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。  
 注2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約7万トンを含んでいない。  
 注3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号）であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。  
 注4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。  
 注5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。  
 注6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
 清酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）  
 焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）、米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用  
 その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
 主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「農産物検査結果」（農林水産省）、  
 加工用米・・・「需要に応じた米生産の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告  
 新規需要米（米粉用米）・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量  
 MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）  
 輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）  
 特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

# 新たに掲載する情報

今月号から、更なるきめ細かな情報提供の一環として、

- ① 産地別事前契約比率（比率が高い方から並び替え）
- ② 産地別一年古米在庫比率（比率が低い方から並び替え）
- ③ 28年産における深掘り産地と過剰作付産地の価格動向
- ④ 27/28年の産地銘柄別需要量を掲載していきます。

## ① 産地別事前契約比率（比率が高い方から並び替え）

- 従来から、報告対象者の集荷数量を分母にした事前契約比率は公表（6頁参照）しているが、別の視点として、農産物検査数量（≒市場出回り量）を分母にした事前契約比率を試算し、比率が高い県から並び替えを行った。
- は種前契約、複数年契約などの事前契約は、作付前に予め販売数量の見通しが立つとともに、価格変動幅も一定に収めることができることから、需要に応じた生産に向け拡大させる必要がある。

### 平成27年産米の産地別事前契約比率

（事前契約数量を農産物検査数量で除した比率）

順位	産地	事前契約比率	順位	産地	事前契約比率
1	山口	55.1%	25	鳥取	23.3%
2	宮城	52.1%	26	富山	23.0%
3	香川	50.0%	27	愛知	18.8%
4	島根	44.7%	28	石川	16.7%
5	岩手	44.1%	29	福島	15.3%
6	宮崎	43.9%	30	埼玉	14.3%
7	滋賀	43.2%	31	福井	9.7%
8	佐賀	42.9%	32	高知	6.2%
9	広島	41.8%	33	大分	3.8%
10	新潟	40.1%	34	群馬	0.0%
11	和歌山	36.8%		東京	0.0%
12	栃木	35.7%		神奈川	0.0%
13	福岡	32.9%		山梨	0.0%
14	京都	31.7%		静岡	0.0%
15	北海道	31.7%		大阪	0.0%
16	熊本	29.7%		兵庫	0.0%
17	青森	27.6%		奈良	0.0%
18	三重	26.9%		岡山	0.0%
19	秋田	26.0%		徳島	0.0%
20	茨城	25.5%	愛媛	0.0%	
21	岐阜	25.3%	長崎	0.0%	
22	長野	25.0%	鹿児島	0.0%	
23	千葉	24.5%	沖縄	0.0%	
24	山形	23.6%	全国計	28.7%	

事前契約比率が高い

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」、「米穀の農産物検査結果」  
注：事前契約数量とは、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量である。



## ② 産地別一年古米在庫比率（比率が低い方から並び替え）

- 従来から公表（10頁参照）している1年古米在庫量を農産物検査数量（≒市場出回り量）で除して在庫比率を試算し、比率が低い県から並び替えを行った。
- 1年古米の民間在庫量は、各都道府県において需要に見合った生産が行われているかどうかを判断する一つの指標となり、一般的に民間在庫比率は、低い方が望ましい。

### 平成27年産米の産地別民間在庫比率

（平成28年10月末民間在庫量を農産物検査数量で除した比率）

順位	産地	民間在庫比率	順位	産地	民間在庫比率
1	静岡	1.5%	25	福井	8.4%
2	宮崎	2.5%	26	岡山	8.4%
3	奈良	3.4%	27	青森	9.4%
4	千葉	3.5%	28	石川	9.8%
5	徳島	3.6%	29	福島	10.9%
6	島根	3.9%	30	愛媛	10.9%
7	富山	4.5%	31	福岡	11.2%
8	滋賀	4.7%	32	山口	12.2%
9	兵庫	4.7%	33	鹿児島	12.6%
10	広島	4.8%	34	群馬	13.6%
11	三重	4.9%	35	長崎	13.6%
12	高知	5.3%	36	山形	13.6%
13	京都	5.3%	37	宮城	14.9%
14	大分	5.7%	38	岩手	15.1%
15	熊本	6.1%	39	岐阜	16.1%
16	佐賀	6.3%	40	埼玉	16.6%
17	香川	6.3%	41	栃木	27.2%
18	愛知	6.4%	—	東京	—
19	鳥取	6.8%	—	神奈川	—
20	長野	7.1%	—	山梨	—
21	茨城	7.3%	—	大阪	—
22	北海道	7.4%	—	和歌山	—
23	秋田	7.8%	—	沖縄	—
24	新潟	8.0%	全国計		9.5%

↑  
民間在庫比率が低い

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」、「米穀の農産物検査結果」

注1：検査数量が、1万トンに満たない産地の民間在庫比率は「—」としている。

注2：一部の業務用においては、商品適正の関係で古米として計画的に使用されている例もある。

### ③ 28年産における深掘り産地と過剰作付産地の価格動向

○ 各産地の作付動向と価格動向を結びつけ、深掘り産地と過剰作付産地の価格動向を比較・分析。

- ・ 28年産米の相対取引価格（28年9月）は、全銘柄平均で14,342円/60kgとなっており、前年産（年産平均）に比べ9%上昇。
- ・ 産地別にみると、深掘りを行った青森県は、作況が104であったものの、「まっしぐら」の価格は12%上昇。
- ・ 一方、過剰作付となった茨城県では、作況が99であったものの、「コシヒカリ」の価格は5%の上昇に留まった。
- ・ 深掘り産地は、作況が良くとも価格上昇率は全国平均を上回るが、過剰作付産地の価格上昇率は全国平均を下回っている。

#### 【28年産】

#### 深掘りの産地

#### 過剰作付の産地

(単位: ha)

	全国
主食用米作付面積 ①	1,381,000
生産数量目標(面積換算) ②	1,403,000
<b>深掘り率 ①/②</b>	<b>▲ 2%</b>
作況指数	103

青森	秋田	山形
36,800	69,300	56,800
41,079	72,152	57,275
<b>▲ 10%</b>	<b>▲ 4%</b>	<b>▲ 1%</b>
104	104	103

茨城	千葉	新潟
67,200	53,900	101,500
63,698	45,582	97,076
<b>+ 5%</b>	<b>+ 18%</b>	<b>+ 5%</b>
99	102	108

(単位: 円/玄米60kg(税込))

相対取引価格	全銘柄平均
27年産(年産平均) ③	13,175
28年産(28年9月) ④	14,342
<b>上昇率(前年比) ④/③</b>	<b>+ 9%</b>

青森 まっしぐら	秋田 あきたこまち	山形 はえぬぎ
11,571	12,844	12,445
12,988	14,151	13,842
<b>+ 12%</b>	<b>+ 10%</b>	<b>+ 11%</b>

茨城 コシヒカリ	千葉 コシヒカリ	新潟一般 コシヒカリ
12,644	12,530	16,186
13,302	13,593	16,599
<b>+ 5%</b>	<b>+ 8%</b>	<b>+ 3%</b>

全国平均を上回る上昇率

全国平均を下回る上昇率

④ 27/28年の産地銘柄別需要量

- 産地別の需要実績については、従来から「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の中で公表してきたところであるが、今回、各産地の作付判断に資するよう品種銘柄別の需要実績の算出を試みた。

＜品種銘柄別需要実績の試算方法＞

平成27年6月末民間在庫に平成27年産生産量を加え、平成28年6月末民間在庫を控除して算出。

なお、生産段階の在庫量は、品種銘柄別に把握できないことから考慮していない。また、品種銘柄別の生産量は、農林水産省「作物統計」の産地別収穫量に、米穀機構が公表している「水稻の品種別作付動向」の作付割合を乗じて推計。

27/28年の主食用米等需要量（実績値）

（単位：千トン）

産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量
北海道		573	千葉		318	京都		72	高知		52
	ななつぼし	243		コシヒカリ	199		コシヒカリ	40		コシヒカリ	26
	ゆめぴりか	98		ふさこがね	51		キヌヒカリ	17		ヒノヒカリ	15
	きらら397	84		ふさおとめ	42	大阪		27	福岡		176
青森		243	東京		1	兵庫		175		夢つくし	67
	まっしぐら	147	神奈川		16		コシヒカリ	63		ヒノヒカリ	59
	つがるロマン	87	新潟		538		ヒノヒカリ	35	佐賀		125
岩手		269		コシヒカリ	371		キヌヒカリ	31		夢しずく	31
	ひとめぼれ	180		こしいぶき	103	奈良		49		さがびより	25
	あきたこまち	38	富山		187		ヒノヒカリ	31		ヒノヒカリ	25
	いわてっこ	14		コシヒカリ	137		コシヒカリ	4	長崎		59
宮城		391		てんたかく	24	和歌山		35		ヒノヒカリ	36
	ひとめぼれ	305	石川		122	鳥取		64		にこまる	10
	まなむすめ	28		コシヒカリ	82		コシヒカリ	26		コシヒカリ	7
	ササニシキ	23		ゆめみづほ	25		ひとめぼれ	18	熊本		166
秋田		471	福井		122	島根		98		ヒノヒカリ	76
	あきたこまち	347		コシヒカリ	64		コシヒカリ	59		コシヒカリ	18
	めんこいな	36		ハナエチゼン	32		きぬむすめ	27		森のくまさん	16
	ひとめぼれ	35	山梨		27	岡山		154	大分		106
山形		387		コシヒカリ	18		アケボノ	28		ヒノヒカリ	79
	はえぬき	249		あさひの夢	2		あきたこまち	26		ひとめぼれ	12
	つや姫	38	長野		202		ヒノヒカリ	24	宮崎		75
	ひとめぼれ	36		コシヒカリ	149	広島		119		ヒノヒカリ	39
福島		342		あきたこまち	25		コシヒカリ	49		コシヒカリ	29
	コシヒカリ	201	岐阜		112		ヒノヒカリ	22	鹿児島		96
	ひとめぼれ	77		ハツシモ	40		あきろまん	12		ヒノヒカリ	59
茨城		355		コシヒカリ	32	山口		102		コシヒカリ	18
	コシヒカリ	262	静岡		82		コシヒカリ	30		あきほなみ	9
	あきたこまち	43		コシヒカリ	36		ひとめぼれ	26	沖縄		2
	ゆめひたち	13		あいちのかおり	14		ヒノヒカリ	25	全国		7,662
栃木		295	愛知		140	徳島		55			
	コシヒカリ	193		あいちのかおり	52		コシヒカリ	27			
	あさひの夢	73		コシヒカリ	32		キヌヒカリ	17			
	なすひかり	13	三重		137	香川		66			
群馬		71		コシヒカリ	102		ヒノヒカリ	28			
	あさひの夢	30		キヌヒカリ	15		コシヒカリ	24			
埼玉		158	滋賀		161	愛媛		71			
	コシヒカリ	64		コシヒカリ	57		コシヒカリ	21			
	彩のかがやき	43		キヌヒカリ	39		ヒノヒカリ	19			
	キヌヒカリ	20		日本晴	19		あきたこまち	15			

# 目 次

- 今月の特集① 米の需給及び価格の安定に関する基本指針
  - 今月の特集② 平成29年産米の生産数量目標等
  - 今月の特集③ 平成26年産加工原材料用向け米穀及び加工用米生産量
  - 今月の特集④ 27米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）
- 新たに掲載する情報

## I 契約・販売情報

- (1) 平成28年産政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果 . . . . . 1
- (2) 平成28年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成28年10月末現在） . . . . . 2
- (3) 産地別事前契約数量 . . . . . 5

## II 米の在庫情報

- (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成22年7月末～平成28年10月末）（速報） . . . 7
- (2) 産地別民間在庫の状況（前年同月比） . . . . . 9
- (3) 平成27・28年産の産地別民間在庫の推移  
（うるち米、平成28年7月末から平成29年6月末）（速報） . . . . . 10

## III 米の価格情報

### 1 相対取引価格・数量

- (1) 相対取引価格（年産別） . . . . . 18
- (2) 価格帯別分析結果（平成28年10月） . . . . . 19
- (3) 相対取引価格・数量（平成28年産米、産地品種銘柄別、平成28年10月分） . . . . . 20
- (4) スポット価格の状況 . . . . . 23
- 2 米の先物取引価格の推移 . . . . . 24
- 3 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成28年11月分） . . . . . 25

## IV 主食用米以外（輸出を含む）

### 1 28年産米の作付状況

- (1) 28年産米の用途別作付面積及び生産量 . . . . . 27
- (2) 主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率） . . . . . 27
- (3) 新規需要米の用途別認定状況 . . . . . 27
- 2 飼料用米の需要量 . . . . . 28
- 3 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について . . . . . 30  
コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について . . . . . 31

## V 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金 . . . . . 32
- (2) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策） . . . . . 36
- (3) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 . . . . . 38

## VI 消費動向

- (1) 米の消費動向（米穀機構による調査） . . . . . 40
- (2) 購入数量の推移（家計調査） . . . . . 41
- (3) 消費者物価指数の推移 . . . . . 42
- (4) 小売物価統計の推移 . . . . . 43
- (5) 小売価格の推移（POSデータ） . . . . . 44

## VII MA米（一般・SBS）の動向

- (1) MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別） . . . . . 45
- (2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成28年度） . . . . . 46
- (3) SBS輸入米の見積合わせ結果（平成28年度） . . . . . 46

## VIII その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果 . . . . . 47
- (2) 平成27年産水稻の作付面積及び収穫量 . . . . . 48
- (3) 平成28年産水稻の作付面積及び収穫量（10月15日現在） . . . . . 49

# I 米の契約・販売

## (1) 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果

① 平成29年産備蓄米の政府買入入札に係る買入予定数量及び都道府県別優先枠

(単位:トン)

平成29年産都道府県別優先枠	
産地	優先枠
北海道	7,130
青森	12,271
岩手	5,229
宮城	6,368
秋田	17,039
山形	11,753
福島	16,443
茨城	600
栃木	5,167
群馬	12
埼玉	296
千葉	748
東京	
神奈川	
新潟	17,365
富山	7,947
石川	3,348
福井	2,187
山梨	
長野	585
岐阜	348
静岡	20
愛知	493
三重	422
滋賀	876
京都	
大阪	
兵庫	18
奈良	
和歌山	
鳥取	535
島根	67
岡山	1,408
広島	
山口	
徳島	337
香川	
愛媛	51
高知	10
福岡	139
佐賀	327
長崎	18
熊本	247
大分	196
宮崎	
鹿児島	
沖縄	
都道府県別枠計	120,000
指定無し	80,000
合計	200,000

② 平成28年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入入札の結果

(単位:トン)

買入対象米穀の産地	平成28年産買入入札の結果				
	落札数量				
	第1回 1月29日実施	第2回 2月10日実施	第3回 2月23日実施	第4回 3月8日実施	合計
北海道	0	11,757	0		11,757
青森	17,177	0	0		17,177
岩手	7,200	0	0		7,200
宮城	368	9,532	0		9,900
秋田	21,343	0	0		21,343
山形	12,707	0	0		12,707
福島	19,459	541	0		20,000
茨城	229	761	0		990
栃木	2,817	3,954	0		6,771
群馬	10	0	0		10
埼玉	432	0	0		432
千葉	1,100	0	0		1,100
東京					
神奈川					
新潟	22,133	0	0		22,133
富山	9,822	0	0		9,822
石川	30	3,940	0		3,970
福井	160	1,825	0		1,985
山梨					
長野	655	0	0		655
岐阜	10	485	0		495
静岡	0	33	0		33
愛知	0	723	0		723
三重	542	0	0		542
滋賀	123	976	0		1,099
京都					
大阪					
兵庫	30	0	0		30
奈良					
和歌山					
鳥取	10	873	0		883
島根	71	0	0		71
岡山	2,133	0	0		2,133
広島	0	0	0		0
山口	0	0	0		0
徳島	10	488	57		555
香川					
愛媛	10	57	12		79
高知	0	0	15		15
福岡	10	209	0		219
佐賀	0	539	0		539
長崎	0	30	0		30
熊本	0	61	347		408
大分	220	0	0		220
宮崎					
鹿児島					
沖縄					
都道府県別枠計	118,811	36,784	431		156,026
指定無し	67,500	0	0	1,474	68,974
合計	186,311	36,784	431	1,474	225,000

## (2) 平成28年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成28年10月末現在）

28年産米の「契約比率」及び「販売比率」（集荷数量に対する進捗状況）については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

集荷・契約・販売数量（北海道から千葉まで）

	集荷数量	契約数量	販売数量	参考：前年同月比 (27年産の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(%)	(%)	(%)
<b>北海道</b>	<b>205.0</b>	<b>224.4</b>	<b>38.0</b>	▲ 16%	+ 17%	▲ 9%
(ななつぼし)	105.7	111.1	16.5	▲ 9%	+ 22%	+ 7%
(ゆめぴりか)	47.3	54.7	8.0	▲ 12%	+ 59%	▲ 5%
(きらら397)	21.1	25.3	1.3	▲ 38%	▲ 35%	▲ 63%
<b>青森</b>	<b>85.4</b>	<b>58.1</b>	<b>8.2</b>	▲ 10%	+ 1%	▲ 2%
(まっしぐら)	44.6	33.5	3.5	▲ 13%	▲ 10%	+ 55%
(つがるロマン)	29.7	17.5	1.9	▲ 20%	+ 5%	▲ 36%
<b>岩手</b>	<b>89.4</b>	<b>93.7</b>	<b>5.6</b>	▲ 18%	+ 29%	+ 17%
(ひとめぼれ)	69.7	72.5	4.0	▲ 22%	+ 26%	+ 14%
(あきたこまち)	14.4	15.5	0.6	▲ 10%	+ 20%	+ 24%
(いわてっこ)	2.5	1.9	0.1	▲ 12%	+ 44%	▲ 21%
<b>宮城</b>	<b>129.4</b>	<b>120.9</b>	<b>8.9</b>	+ 0%	+ 7%	+ 3%
(ひとめぼれ)	104.1	103.5	6.7	▲ 1%	+ 10%	+ 4%
(ササニシキ)	7.9	5.9	0.8	▲ 7%	+ 18%	▲ 1%
(つや姫)	10.9	7.5	0.9	+ 14%	+ 20%	▲ 1%
<b>秋田</b>	<b>176.0</b>	<b>96.8</b>	<b>21.6</b>	▲ 4%	▲ 2%	+ 3%
(あきたこまち)	155.0	86.4	20.3	▲ 4%	+ 5%	+ 10%
(めんこいな)	7.9	2.3	0.1	▲ 3%	▲ 44%	▲ 65%
(ひとめぼれ)	4.1	5.0	0.7	▲ 3%	▲ 17%	▲ 42%
<b>山形</b>	<b>144.2</b>	<b>52.3</b>	<b>9.6</b>	▲ 7%	+ 7%	▲ 8%
(はえぬき)	86.2	25.1	3.5	▲ 11%	+ 35%	▲ 12%
(つや姫)	25.7	14.9	3.2	+ 21%	+ 34%	+ 0%
(ひとめぼれ)	13.5	7.3	1.3	▲ 8%	▲ 19%	+ 34%
<b>福島</b>	<b>116.8</b>	<b>60.8</b>	<b>4.2</b>	+ 18%	+ 42%	▲ 13%
(コシヒカリ中通り)	43.0	7.3	0.8	+ 27%	+ 118%	▲ 36%
(コシヒカリ会津)	31.8	31.3	1.1	+ 10%	+ 33%	+ 52%
(コシヒカリ浜通り)	3.8	4.8	0.1	+ 21%	+ 532%	▲ 61%
(ひとめぼれ)	23.3	13.3	1.2	+ 13%	+ 13%	▲ 23%
(天のつぶ)	6.2	1.4	0.4	+ 13%	▲ 40%	+ 3%
<b>茨城</b>	<b>59.1</b>	<b>48.8</b>	<b>10.4</b>	▲ 8%	▲ 26%	+ 11%
(コシヒカリ)	46.0	37.8	5.3	▲ 8%	▲ 31%	+ 9%
(あきたこまち)	8.2	9.3	4.5	▲ 14%	▲ 4%	+ 12%
(ゆめひたち)	0.3	0.0	0.0	▲ 42%	▲ 55%	▲ 47%
<b>栃木</b>	<b>105.1</b>	<b>65.6</b>	<b>5.4</b>	▲ 10%	▲ 15%	▲ 65%
(コシヒカリ)	89.9	59.9	4.1	▲ 11%	▲ 9%	▲ 68%
(あさひの夢)	4.6	2.5	0.5	▲ 19%	▲ 45%	+ 189%
(なすひかり)	5.6	1.4	0.4	▲ 15%	▲ 63%	▲ 75%
<b>群馬</b>	<b>4.9</b>	<b>0.6</b>	<b>0.2</b>	+ 12%	+ 126%	+ 0%
(あさひの夢)	2.6	0.0	0.0	+ 7%	▲ 97%	▲ 97%
(ゆめまつり)	1.3	0.0	0.0	+ 7%	▲ 52%	▲ 52%
<b>埼玉</b>	<b>11.9</b>	<b>8.0</b>	<b>1.4</b>	▲ 12%	+ 25%	+ 5%
(彩のかがやき)	4.9	4.0	0.6	▲ 3%	+ 21%	▲ 26%
(コシヒカリ)	6.3	3.6	0.7	▲ 2%	+ 94%	+ 45%
(彩のきずな)	1.5	0.7	0.0	…	…	…
<b>千葉</b>	<b>74.3</b>	<b>54.3</b>	<b>19.2</b>	▲ 17%	▲ 23%	▲ 8%
(コシヒカリ)	41.9	31.3	8.7	▲ 14%	▲ 11%	+ 11%
(ふさこがね)	13.4	10.4	2.7	▲ 18%	▲ 17%	▲ 11%
(ふさおとめ)	15.3	11.2	6.9	▲ 22%	▲ 41%	▲ 19%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないもの。

9 「参考：前年同月比」の「…」は、27年産では調査の対象銘柄でなかったこと等から、28年産との比較が出来ないもの。

集荷・契約・販売数量(東京から鳥取まで)

	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (27年産の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(%)	(%)	(%)
東京	-	-	-	...	...	...
神奈川	2.5	0.2	0.2	+4%	+7%	+7%
山梨	3.9	0.4	0.4	+1%	+19%	+19%
(コシヒカリ)	3.4	0.3	0.3	▲1%	▲8%	▲8%
(あさひの夢)	0.1	-	-	+23%	▲100%	▲100%
長野	46.9	29.3	4.5	+4%	+11%	+4%
(コシヒカリ)	37.5	21.5	2.9	+7%	+10%	+9%
(あきたこまち)	5.0	3.6	0.7	▲8%	+41%	▲5%
静岡	8.7	1.1	1.1	▲1%	▲18%	▲18%
(コシヒカリ)	6.0	0.9	0.9	▲2%	▲18%	▲18%
(きぬむすめ)	1.2	0.0	0.0	+10%	▲20%	▲20%
(あいちのかおり)	0.6	0.0	0.0	▲10%	+0%	+0%
新潟	264.6	172.4	32.2	+11%	▲6%	▲8%
(コシヒカリ一般)	153.9	100.7	13.7	+17%	+0%	▲13%
(コシヒカリ魚沼)	24.8	10.9	3.5	+18%	▲19%	▲15%
(コシヒカリ岩船)	13.1	9.6	1.6	+11%	▲8%	▲5%
(コシヒカリ佐渡)	13.1	12.4	2.3	+5%	▲2%	▲8%
(こしいぶぎ)	38.5	25.3	6.0	▲3%	▲18%	▲6%
富山	97.6	50.9	10.5	+2%	+19%	▲41%
(コシヒカリ)	81.0	42.6	8.2	+0%	+21%	▲45%
(てんたかく)	8.9	4.5	1.4	+5%	▲2%	▲33%
石川	30.9	23.0	0.7	▲5%	+46%	▲41%
(コシヒカリ)	21.6	16.6	0.5	▲3%	+70%	▲47%
(ゆめみづほ)	6.6	4.6	0.2	▲15%	▲8%	+22%
福井	62.8	19.8	9.1	+11%	▲6%	▲32%
(コシヒカリ)	30.4	7.1	2.9	+18%	+0%	▲32%
(ハナエチゼン)	19.0	7.6	5.2	+8%	+10%	▲6%
岐阜	12.5	14.9	3.6	▲5%	+24%	+11%
(ハツシモ)	2.0	6.7	0.4	+8%	+40%	▲28%
(コシヒカリ)	5.5	3.3	0.8	+4%	+12%	+18%
(あきたこまち)	1.9	1.7	1.4	▲15%	▲5%	+6%
愛知	20.7	22.3	4.5	+1%	▲14%	+0%
(あいちのかおり)	5.9	9.4	1.0	▲2%	▲22%	+7%
(コシヒカリ)	11.3	9.7	1.8	+4%	+1%	▲19%
(大地の風)	0.3	0.5	0.2	▲24%	▲59%	▲26%
三重	27.9	17.9	3.8	+3%	+1%	▲10%
(コシヒカリ一般)	16.4	10.1	1.9	+6%	+1%	▲14%
(コシヒカリ伊賀)	5.2	3.8	0.9	+0%	▲1%	+4%
(キヌヒカリ)	2.4	0.9	0.1	▲8%	▲11%	▲63%
滋賀	41.4	57.8	8.9	+5%	+12%	▲3%
(コシヒカリ)	15.0	23.6	3.2	▲1%	+21%	▲22%
(キヌヒカリ)	8.0	11.3	1.5	+3%	+4%	▲9%
(日本晴)	3.4	5.7	0.3	+0%	+19%	▲23%
京都	6.2	9.0	1.1	▲28%	+4%	▲32%
(コシヒカリ)	3.5	6.0	0.7	▲38%	+35%	▲29%
(キヌヒカリ)	1.7	2.6	0.2	▲9%	▲6%	▲28%
大阪	-	-	-	...	...	...
兵庫	31.0	16.8	4.0	+11%	▲6%	▲18%
(コシヒカリ)	12.8	2.2	1.6	+3%	▲12%	▲20%
(ヒノヒカリ)	1.5	0.4	0.2	▲4%	+43%	+4%
(キヌヒカリ)	5.0	0.6	0.4	+1%	▲26%	▲37%
奈良	5.2	5.2	0.7	▲10%	▲10%	+17%
(ヒノヒカリ)	3.5	3.5	0.4	▲14%	▲14%	+0%
(コシヒカリ)	0.5	0.5	0.1	▲3%	▲3%	+19%
和歌山	2.0	2.0	0.1	+25%	+23%	+37%
鳥取	3.3	6.2	1.1	▲74%	▲13%	▲61%
(コシヒカリ)	1.2	1.5	0.3	▲75%	▲37%	▲75%
(きぬむすめ)	0.3	2.0	0.0	▲88%	+56%	▲94%
(ひとめぼれ)	1.7	2.6	0.7	▲62%	▲22%	▲36%

集荷・契約・販売数量(島根から沖縄まで、全国計)

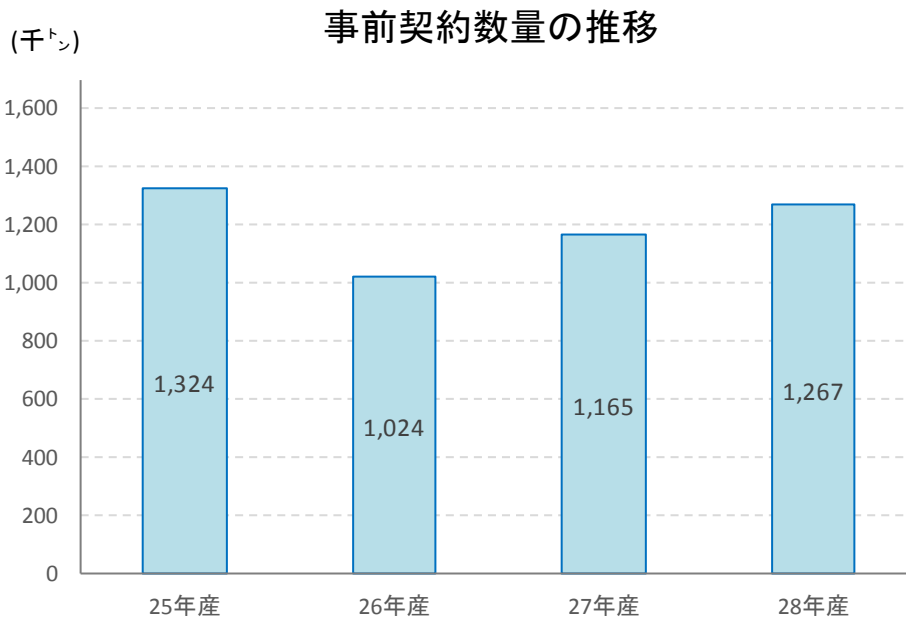
	集荷数量	契約数量	販売数量	参考: 前年同月比 (27年産の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(%)	(%)	(%)
島根	25.7	28.5	3.7	+ 12%	+ 35%	▲ 5%
(コシヒカリ)	15.4	15.0	2.3	+ 25%	+ 57%	+ 16%
(きぬむすめ)	7.9	11.4	0.7	+ 18%	+ 69%	+ 73%
(つや姫)	2.6	3.6	0.5	...	...	...
岡山	3.9	5.7	1.0	+ 9%	▲ 40%	▲ 13%
(アケボノ)	0.2	0.2	0.1	+ 532%	▲ 71%	+ 219%
(あきたこまち)	0.7	1.2	0.3	▲ 36%	+ 2%	▲ 10%
(ヒノヒカリ)	0.4	0.2	0.0	+ 48%	▲ 38%	▲ 28%
広島	30.4	28.7	4.0	▲ 2%	+ 0%	▲ 4%
(コシヒカリ)	14.8	14.2	2.0	+ 3%	+ 7%	▲ 9%
(あきろまん)	2.8	3.5	0.3	▲ 22%	▲ 13%	+ 27%
(ヒノヒカリ)	2.1	2.1	0.1	▲ 7%	▲ 14%	▲ 15%
山口	25.3	24.5	2.3	▲ 7%	+ 6%	▲ 10%
(コシヒカリ)	8.0	8.1	1.1	▲ 11%	+ 1%	▲ 29%
(ひとめぼれ)	7.7	5.4	0.7	+ 0%	▲ 1%	+ 23%
(ヒノヒカリ)	4.3	5.7	0.3	▲ 12%	+ 5%	+ 35%
徳島	5.9	1.9	1.5	+ 15%	+ 0%	+ 11%
(コシヒカリ)	3.4	1.3	1.0	+ 6%	▲ 1%	▲ 4%
(キヌヒカリ)	1.8	0.4	0.3	+ 24%	▲ 11%	+ 201%
香川	14.8	12.9	1.7	+ 8%	+ 6%	▲ 7%
(ヒノヒカリ)	3.8	5.6	0.2	+ 4%	▲ 6%	▲ 52%
(コシヒカリ)	7.8	4.4	1.2	+ 11%	+ 12%	+ 6%
愛媛	8.7	1.8	1.5	+ 18%	▲ 1%	▲ 8%
(コシヒカリ)	4.3	1.1	1.0	+ 6%	+ 2%	▲ 1%
(ヒノヒカリ)	1.6	0.2	0.1	+ 116%	+ 10%	▲ 2%
(あきたこまち)	1.2	0.3	0.3	▲ 10%	▲ 14%	▲ 16%
高知	6.5	2.8	2.6	+ 9%	+ 14%	+ 13%
(コシヒカリ)	5.1	1.9	1.9	+ 8%	+ 18%	+ 19%
(ヒノヒカリ)	0.4	0.0	0.0	+ 282%	+ 325%	+ 229%
福岡	17.9	32.6	4.3	+ 12%	+ 10%	+ 21%
(夢つくし)	11.0	10.5	2.7	+ 14%	+ 6%	+ 25%
(ヒノヒカリ)	1.7	10.1	0.3	+ 19%	+ 23%	+ 39%
(元気つくし)	4.5	11.3	1.0	+ 22%	+ 15%	+ 32%
佐賀	24.6	27.2	3.7	+ 4%	+ 5%	+ 16%
(さがびより)	3.1	9.5	0.4	+ 51%	+ 24%	+ 88%
(夢しずく)	10.0	8.1	1.4	+ 4%	▲ 5%	+ 13%
(ヒノヒカリ)	7.0	6.6	0.4	▲ 3%	+ 3%	+ 40%
長崎	5.2	0.8	0.7	▲ 4%	+ 7%	▲ 1%
(にこまる)	1.1	0.1	0.0	▲ 11%	+ 37%	▲ 3%
(ヒノヒカリ)	1.6	0.2	0.1	▲ 12%	+ 12%	▲ 4%
(コシヒカリ)	1.6	0.4	0.4	+ 9%	+ 9%	+ 3%
熊本	16.6	18.3	4.1	▲ 3%	▲ 31%	▲ 6%
(ヒノヒカリ)	6.3	6.1	1.0	▲ 5%	▲ 31%	+ 22%
(森のくまさん)	1.3	4.0	0.4	▲ 31%	▲ 20%	+ 52%
(コシヒカリ)	5.5	4.5	1.8	+ 9%	▲ 36%	▲ 24%
大分	5.8	1.8	0.7	+ 2%	▲ 18%	▲ 25%
(ヒノヒカリ)	3.8	0.9	0.2	+ 5%	▲ 27%	+ 3%
(ひとめぼれ)	0.3	0.1	0.1	▲ 10%	+ 12%	▲ 22%
宮崎	12.7	12.7	10.2	+ 13%	+ 13%	+ 5%
(コシヒカリ)	9.4	9.4	9.4	+ 7%	+ 7%	+ 7%
(ヒノヒカリ)	2.9	2.9	0.5	+ 40%	+ 40%	▲ 19%
鹿児島	8.9	8.9	6.3	▲ 2%	▲ 2%	+ 9%
(ヒノヒカリ)	3.4	3.4	1.2	▲ 14%	▲ 14%	+ 26%
(あきほなみ)	0.3	0.3	0.1	+ 43%	+ 43%	+ 61%
(コシヒカリ)	3.4	3.4	3.4	+ 7%	+ 7%	+ 7%
沖縄	1.4	1.4	1.3	+ 4%	+ 4%	+ 3%
全国①	2,117	1,572	293	▲ 2%	+ 5%	▲ 5%
参考 前年同月(27年産)②	2,165	1,503	310			
前年同月差(①-②)	▲ 48	69	▲ 17			



### (3) 産地別事前契約数量

- 事前契約数量は、2年続けて増加、平成28年産米（10月末現在）では、前年産に比べ10.2万トン多い127万トンという水準。

〔 事前契約数量とは、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたもの。 〕



### 生産法人と業務用実需者との事前契約の取組事例

- 平成24年産米の価格上昇により、中食・外食事業者においては、弁当や寿司業界等のニーズに応じた値頃感のある米の確保が困難となっていたところ。
- こうした中、A県の農業生産法人では、品質（食味）、価格条件等の実需者のニーズに応じて品種を作り分けることにより、生産量の約8割を事前契約や複数年契約で安定的な取引を実現。
- 例えば、当該農業生産法人は、炊飯事業者との取引において、希望のあった品種を一定の数量、価格で事前契約を行っており、翌年産米の取引では、前年の10倍の数量契約を締結し、安定した品質の米を納入。現在まで契約数量の全てが納入済といった状況。価格は、生産コストや流通コスト等を踏まえた再生産可能な価格を基本に実需者と協議して決定。

#### 農業生産法人

- 経営安定のため、事前契約率を高めたい。
- 販売先だけでなく、事前に価格が決まっているのは生産者にとってありがたい。
- 概ね年内中に引き取ってくれるので余計なコスト負担がない。

契約

双方がウィンウィンの取引に！

#### 炊飯事業者

- 農業生産法人安定的な数量の確保。
- 食味の良さと品質のバラつきのなさを実感。
- 品種に応じて白飯や酢飯に使い分けている。
- 業務用といっても安ければいいということではなく、一定の価格で安定取引ができる。

# 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成28年10月末現在)(速報)

28年産米の「事前契約比率」(集荷数量に対する事前契約数量の比率)については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

	25年産			26年産			27年産			28年産(平成28年10月末現在)	
	集荷数量 ①	うち事前契約分 ②	事前契約比率 ②/①	集荷数量 ③	うち事前契約分 ④	事前契約比率 ④/③	集荷数量 ⑤	うち事前契約分 ⑥	事前契約比率 ⑥/⑤	集荷数量	うち事前契約分
北海道	389.9	167.0	43%	398.0	161.0	40%	398.3	150.0	38%	205.0	169.4
青森	165.1	46.9	28%	169.6	26.1	15%	148.1	45.8	31%	85.4	52.6
岩手	148.8	82.3	55%	150.2	47.7	32%	156.0	70.9	45%	89.4	91.1
宮城	196.2	141.7	72%	216.3	111.3	51%	181.4	108.6	60%	129.4	112.0
秋田	319.5	102.6	32%	303.9	68.5	23%	277.8	80.1	29%	176.0	83.5
山形	259.0	56.9	22%	242.7	52.8	22%	215.6	55.3	26%	144.2	46.7
福島	173.9	27.9	16%	153.3	20.0	13%	137.7	32.0	23%	116.8	51.7
茨城	107.8	39.0	36%	109.8	46.0	42%	81.5	46.6	57%	59.1	37.1
栃木	191.8	43.1	22%	184.0	36.8	20%	142.0	61.2	43%	105.1	60.3
群馬	26.9	-	-	26.3	-	-	18.9	-	-	4.9	-
埼玉	23.1	5.9	25%	28.5	3.2	11%	21.8	5.8	27%	13.3	8.2
千葉	111.0	20.0	18%	123.8	31.3	25%	95.5	41.3	43%	74.3	31.8
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.1	-	-	2.4	-	-	2.7	-	-	2.5	-
山梨	6.3	-	-	5.9	-	-	6.0	-	-	3.9	-
長野	77.8	42.0	54%	69.9	22.0	31%	69.1	21.5	31%	46.9	26.3
静岡	7.9	-	-	10.2	-	-	9.6	-	-	8.7	-
新潟	306.0	144.4	47%	292.4	122.3	42%	258.1	144.7	56%	264.6	141.1
富山	111.6	53.8	48%	111.6	36.2	32%	106.5	29.5	28%	97.6	43.7
石川	38.2	29.4	77%	36.6	14.2	39%	33.2	14.0	42%	30.9	21.7
福井	72.0	56.3	78%	65.2	7.8	12%	65.3	7.3	11%	62.8	6.8
岐阜	39.6	17.0	43%	34.4	15.3	44%	28.8	9.5	33%	12.5	12.0
愛知	43.5	7.8	18%	41.1	-	-	35.8	10.6	30%	20.7	15.1
三重	39.0	20.0	51%	31.3	15.9	51%	31.3	16.5	53%	27.9	17.3
滋賀	77.2	40.6	53%	67.2	25.7	38%	63.8	38.3	60%	41.4	46.8
京都	17.3	8.0	46%	15.5	7.2	47%	13.8	6.1	44%	6.2	8.1
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	42.6	-	-	41.1	-	-	42.9	-	-	31.0	-
奈良	8.6	-	-	9.7	-	-	10.0	-	-	5.2	-
和歌山	1.3	1.3	98%	1.4	1.4	99%	1.8	1.5	86%	2.0	1.7
鳥取	29.0	10.6	37%	27.0	6.9	25%	22.1	5.7	26%	3.3	6.1
島根	39.3	21.8	56%	43.5	11.3	26%	37.9	18.7	49%	28.4	31.9
岡山	31.9	-	-	30.1	10.0	33%	20.4	-	-	3.9	-
広島	41.6	1.9	5%	36.9	1.9	5%	33.8	20.4	60%	30.4	27.0
山口	42.9	22.9	53%	37.0	20.5	55%	34.6	22.9	66%	25.3	24.3
徳島	14.3	-	-	10.3	-	-	5.3	-	-	5.9	-
香川	31.7	19.1	60%	28.3	13.2	46%	25.2	12.2	48%	14.8	12.9
愛媛	15.2	-	-	14.6	-	-	13.8	-	-	8.7	-
高知	8.8	-	-	7.6	-	-	6.0	1.2	20%	6.5	1.1
福岡	54.2	25.7	47%	56.9	25.0	44%	55.0	27.3	50%	17.9	30.3
佐賀	40.8	23.8	58%	42.7	23.8	56%	45.6	23.9	53%	24.6	25.2
長崎	11.6	-	-	10.9	-	-	12.3	-	-	5.2	-
熊本	49.3	23.9	48%	45.1	22.9	51%	39.5	21.3	54%	16.6	15.0
大分	18.6	1.6	9%	17.9	1.0	5%	15.5	1.1	7%	5.8	0.1
宮崎	23.0	18.7	81%	20.8	14.7	71%	15.2	13.2	86%	12.7	8.4
鹿児島	21.9	-	-	19.0	-	-	14.5	-	-	8.9	-
沖縄	1.7	-	-	1.7	-	-	1.6	-	-	1.4	-
全 国	3,520	1,324	38%	3,436	1,024	30%	3,096	1,165	38%	2,117	1,267

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 25年産、26年産及び27年産は生産年の翌年10月末時点、28年産は当年10月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、3の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

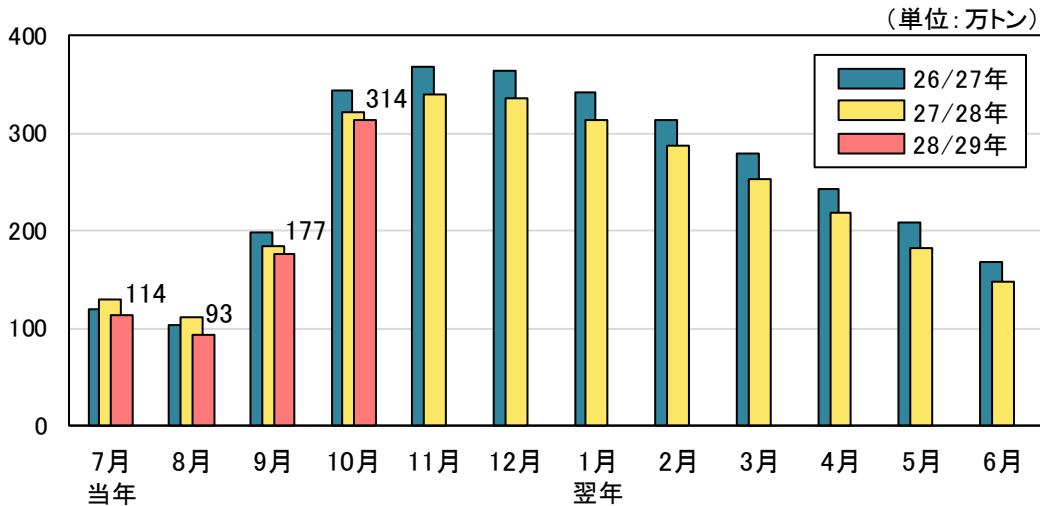
## Ⅱ 米の在庫情報

### (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成22年7月末～平成28年10月末）（速報）

- 平成28年10月末の出荷及び販売段階における在庫は、対前年同月▲6万トンの314万トンとなっている。

※ 都道府県別在庫量は、10頁以降参照。

#### 【出荷＋販売段階】



(単位:玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	118	102	212	351	372	363	339	304	238	200	156	118
対前年差	+5	+9	+48	+1	▲8	▲8	▲8	▲15	▲29	▲29	▲34	▲36
22年産米	0	16	145	290	314	315	297	268	208	174	135	99
1年古米(21年産)	112	81	60	52	49	41	35	29	24	20	16	13
23/24年	83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
1年古米(22年産)	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
1年古米(23年産)	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲22
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	114	93	177	314								
対前年差	▲16	▲19	▲8	▲6								
28年産米	1	14	122	268								
1年古米(27年産)	104	72	48	38								

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 期間については、28/29年であれば、28年7月～29年6月である。  
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。  
 6 26年産米は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。  
 7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

## 【出荷段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	±0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
22年産米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
1年古米(21年産)	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23年産米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1年古米(22年産)	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24年産米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1年古米(23年産)	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	116
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲22
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	262								
対前年差	▲16	▲19	▲13	▲16								
28年産米	1	11	107	240								
1年古米(27年産)	84	56	35	19								

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
22年産米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
1年古米(21年産)	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53								
対前年差	+1	+1	+5	+10								
28年産米	0	3	14	28								
1年古米(27年産)	19	16	13	20								

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## (2) 産地別民間在庫の状況（前年同月比）

平成27年産(28年10月末)

【出荷＋販売段階】

(単位:千トン)

産地	27年産 (H28.10末)	26年産 (H27.10末)	前年 同月比	産地	27年産 (H28.10末)	26年産 (H27.10末)	前年 同月比
北海道	35.2	48.5	72%	滋賀	4.2	4.9	86%
青森	15.6	26.8	58%	京都	1.0	1.4	71%
岩手	24.2	27.0	90%	大阪	0.1	0.2	29%
宮城	31.1	66.3	47%	兵庫	2.3	1.3	180%
秋田	24.1	51.9	47%	奈良	0.5	0.4	118%
山形	31.9	53.0	60%	和歌山	0.2	0.4	56%
福島	22.9	28.6	80%	鳥取	1.7	2.6	63%
茨城	13.3	13.6	97%	島根	1.6	5.3	31%
栃木	46.5	43.8	106%	岡山	5.5	7.1	77%
群馬	3.2	5.1	61%	広島	2.3	3.0	79%
埼玉	6.7	9.0	75%	山口	5.1	5.3	95%
千葉	5.8	18.6	31%	徳島	0.7	0.4	157%
東京	0.0	0.0	—	香川	1.5	1.8	86%
神奈川	0.0	0.0	113%	愛媛	2.1	2.6	81%
新潟	28.8	22.2	130%	高知	1.0	0.4	252%
富山	5.7	8.2	69%	福岡	9.2	6.8	135%
石川	8.2	8.5	97%	佐賀	3.5	4.4	80%
福井	6.3	7.0	90%	長崎	2.1	1.3	163%
山梨	0.4	0.9	45%	熊本	4.4	2.1	209%
長野	6.1	5.9	104%	大分	1.7	2.0	83%
岐阜	6.0	7.4	82%	宮崎	0.7	0.3	286%
静岡	0.3	0.4	81%	鹿児島	3.7	2.1	180%
愛知	3.6	5.5	65%	沖縄	0.0	0.0	—
三重	3.0	3.7	81%	全国計	385	519	74%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

注2：出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上)である。

注3：販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

### (3) 平成27・28年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成28年7月末から平成29年6月末) (速報)

産地別民間在庫の推移① (北海道から秋田)

(単位: 玄米千トン)

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
北海道	出荷+販売段階	117.0	79.0	108.6	293.4									
	28年産米	0.0	0.0	61.0	257.4									
	1年古米(27年産)	114.6	77.4	46.3	35.2									
	出荷段階	93.1	60.1	86.2	239.7									
	28年産米	0.0	0.0	51.1	218.2									
	1年古米(27年産)	92.0	59.3	34.5	21.0									
	販売段階	23.9	19.0	22.4	53.7									
	28年産米	0.0	0.0	10.0	39.2									
	1年古米(27年産)	22.5	18.1	11.8	14.1									
	青森	出荷+販売段階	62.6	45.6	62.0	125.1								
		28年産米	0.0	0.0	31.2	108.8								
		1年古米(27年産)	61.2	44.5	29.9	15.6								
出荷段階		46.1	33.0	51.6	103.1									
28年産米		0.0	0.0	30.4	101.4									
1年古米(27年産)		46.1	32.9	21.1	1.8									
販売段階		16.5	12.6	10.4	22.0									
28年産米		0.0	0.0	0.8	7.5									
1年古米(27年産)		15.1	11.5	8.8	13.9									
岩手		出荷+販売段階	58.0	41.8	38.1	120.7								
		28年産米	0.0	0.0	9.8	95.8								
		1年古米(27年産)	56.0	40.4	27.3	24.2								
	出荷段階	50.8	35.7	32.3	102.8									
	28年産米	0.0	0.0	9.2	89.7									
	1年古米(27年産)	50.2	35.3	22.9	12.9									
	販売段階	7.2	6.1	5.8	17.9									
	28年産米	0.0	0.0	0.6	6.1									
	1年古米(27年産)	5.8	5.1	4.4	11.3									
	宮城	出荷+販売段階	75.7	55.9	72.5	185.5								
		28年産米	0.0	0.0	32.2	151.7								
		1年古米(27年産)	68.9	50.7	36.6	31.1								
出荷段階		65.5	47.1	63.2	166.6									
28年産米		0.0	0.0	30.6	143.6									
1年古米(27年産)		62.4	44.6	31.0	21.9									
販売段階		10.1	8.9	9.3	18.9									
28年産米		0.0	0.0	1.5	8.1									
1年古米(27年産)		6.5	6.1	5.7	9.2									
秋田		出荷+販売段階	84.3	54.9	114.4	252.2								
		28年産米	0.0	0.0	82.0	221.8								
		1年古米(27年産)	73.6	46.6	25.3	24.1								
	出荷段階	64.9	40.2	101.3	225.6									
	28年産米	0.0	0.0	79.1	209.4									
	1年古米(27年産)	60.1	36.5	19.0	13.3									
	販売段階	19.4	14.8	13.2	26.6									
	28年産米	0.0	0.0	3.0	12.4									
	1年古米(27年産)	13.5	10.1	6.2	10.8									

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるち米及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、28年産米と1年古米（27年産）の合計と一致しない場合がある。

**(お知らせ)**

平成26年2月から平成28年6月までの産地別民間在庫の推移については、農林水産省ホームページに掲載しています。  
 (ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等)  
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

## 産地別民間在庫の推移②（山形から埼玉）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	90.1	66.3	81.3	207.8								
	28年産米	0.0	0.0	30.8	167.6								
	1年古米(27年産)	80.9	58.8	40.6	31.9								
	出荷段階	75.9	54.0	64.2	181.7								
	28年産米	0.0	0.0	29.7	159.0								
	1年古米(27年産)	69.8	48.9	30.4	19.3								
	販売段階	14.3	12.3	17.1	26.1								
	28年産米	0.0	0.0	1.1	8.6								
	1年古米(27年産)	11.1	9.9	10.3	12.7								
福島	出荷+販売段階	65.6	44.4	37.3	183.8								
	28年産米	0.0	0.0	10.4	159.6								
	1年古米(27年産)	62.3	41.7	24.9	22.9								
	出荷段階	48.4	29.9	26.4	156.3								
	28年産米	0.0	0.0	9.9	147.0								
	1年古米(27年産)	46.2	28.1	15.0	8.2								
	販売段階	17.3	14.5	10.9	27.5								
	28年産米	0.0	0.0	0.5	12.5								
	1年古米(27年産)	16.0	13.7	9.9	14.7								
茨城	出荷+販売段階	44.1	44.9	115.4	131.1								
	28年産米	0.0	17.8	97.5	117.1								
	1年古米(27年産)	40.1	24.8	17.1	13.3								
	出荷段階	27.1	27.2	78.5	91.1								
	28年産米	0.0	11.8	69.6	84.9								
	1年古米(27年産)	25.3	14.4	8.4	5.9								
	販売段階	17.0	17.7	36.9	40.0								
	28年産米	0.0	6.0	28.0	32.2								
	1年古米(27年産)	14.8	10.3	8.7	7.3								
栃木	出荷+販売段階	86.8	67.5	117.5	175.4								
	28年産米	0.0	0.0	65.3	123.5								
	1年古米(27年産)	74.6	58.1	44.2	46.5								
	出荷段階	72.0	54.9	100.1	139.1								
	28年産米	0.0	0.0	59.7	110.9								
	1年古米(27年産)	65.2	49.5	36.6	25.7								
	販売段階	14.9	12.7	17.5	36.2								
	28年産米	0.0	0.0	5.6	12.6								
	1年古米(27年産)	9.4	8.6	7.6	20.8								
群馬	出荷+販売段階	10.4	7.3	5.8	8.5								
	28年産米	0.0	0.0	0.4	5.3								
	1年古米(27年産)	10.2	7.2	5.4	3.2								
	出荷段階	8.1	5.6	4.0	5.2								
	28年産米	0.0	0.0	0.3	4.9								
	1年古米(27年産)	8.1	5.6	3.7	0.2								
	販売段階	2.4	1.7	1.8	3.3								
	28年産米	0.0	0.0	0.1	0.4								
	1年古米(27年産)	2.1	1.6	1.7	2.9								
埼玉	出荷+販売段階	12.5	9.5	17.2	26.0								
	28年産米	0.0	0.3	7.5	18.5								
	1年古米(27年産)	10.8	7.9	8.6	6.7								
	出荷段階	9.6	7.0	11.1	18.3								
	28年産米	0.0	0.2	6.6	14.9								
	1年古米(27年産)	8.4	6.0	3.9	3.1								
	販売段階	2.9	2.4	6.1	7.7								
	28年産米	0.0	0.2	0.9	3.6								
	1年古米(27年産)	2.4	1.9	4.6	3.7								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移③（千葉から静岡）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	20.2	51.8	121.7	117.3								
	28年産米	0.0	40.8	113.7	111.3								
	1年古米(27年産)	19.5	10.6	7.7	5.8								
	出荷段階	14.6	43.6	106.2	103.0								
	28年産米	0.0	37.1	101.8	99.5								
	1年古米(27年産)	14.4	6.4	4.4	3.4								
	販売段階	5.6	8.2	15.5	14.3								
	28年産米	0.0	3.7	11.9	11.7								
	1年古米(27年産)	5.1	4.2	3.3	2.5								
東京	出荷＋販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0								
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
	出荷段階	0.0	0.0	0.0	0.0								
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0								
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
神奈川	出荷＋販売段階	0.3	0.2	0.2	2.5								
	28年産米	0.0	0.0	0.2	2.5								
	1年古米(27年産)	0.3	0.2	0.1	0.0								
	出荷段階	0.3	0.2	0.2	2.5								
	28年産米	0.0	0.0	0.2	2.5								
	1年古米(27年産)	0.3	0.2	0.1	0.0								
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0								
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
山梨	出荷＋販売段階	1.7	1.1	1.2	4.1								
	28年産米	0.0	0.0	0.6	3.7								
	1年古米(27年産)	1.6	1.1	0.6	0.4								
	出荷段階	1.4	0.8	0.9	3.7								
	28年産米	0.0	0.0	0.6	3.5								
	1年古米(27年産)	1.4	0.8	0.4	0.2								
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.4								
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.2								
	1年古米(27年産)	0.3	0.3	0.3	0.2								
長野	出荷＋販売段階	19.5	12.7	23.8	59.2								
	28年産米	0.0	0.0	15.7	53.0								
	1年古米(27年産)	19.3	12.6	7.9	6.1								
	出荷段階	15.8	9.7	20.4	52.3								
	28年産米	0.0	0.0	14.9	49.9								
	1年古米(27年産)	15.8	9.7	5.5	2.4								
	販売段階	3.7	3.0	3.3	6.8								
	28年産米	0.0	0.0	0.9	3.1								
	1年古米(27年産)	3.5	2.8	2.4	3.7								
静岡	出荷＋販売段階	2.3	6.1	15.6	20.0								
	28年産米	0.0	4.7	14.8	19.6								
	1年古米(27年産)	2.2	1.2	0.7	0.3								
	出荷段階	1.7	3.8	10.3	14.2								
	28年産米	0.0	2.9	9.9	14.0								
	1年古米(27年産)	1.7	0.9	0.4	0.2								
	販売段階	0.6	2.3	5.3	5.9								
	28年産米	0.0	1.8	4.9	5.6								
	1年古米(27年産)	0.5	0.4	0.2	0.2								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。



## 産地別民間在庫の推移④（新潟から愛知）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	70.4	46.5	238.6	340.2								
	28年産米	0.0	0.6	208.2	309.2								
	1年古米(27年産)	66.7	43.0	27.9	28.8								
	出荷段階	58.4	36.7	221.3	308.8								
	28年産米	0.0	0.6	197.0	291.3								
	1年古米(27年産)	55.4	33.6	22.1	15.4								
	販売段階	12.0	9.9	17.3	31.4								
	28年産米	0.0	0.0	11.2	17.9								
	1年古米(27年産)	11.3	9.4	5.8	13.3								
富山	出荷＋販売段階	27.5	19.2	87.2	111.8								
	28年産米	0.0	1.9	76.5	105.8								
	1年古米(27年産)	27.1	16.9	10.4	5.7								
	出荷段階	21.8	13.8	80.4	102.4								
	28年産米	0.0	1.6	73.1	100.9								
	1年古米(27年産)	21.8	12.2	7.3	1.5								
	販売段階	5.7	5.4	6.8	9.3								
	28年産米	0.0	0.4	3.4	4.9								
	1年古米(27年産)	5.3	4.6	3.1	4.2								
石川	出荷＋販売段階	19.4	19.1	68.4	78.2								
	28年産米	0.0	5.7	58.9	69.8								
	1年古米(27年産)	19.0	13.0	9.3	8.2								
	出荷段階	16.1	14.7	47.1	55.4								
	28年産米	0.0	3.7	39.1	48.5								
	1年古米(27年産)	16.0	11.0	8.0	6.8								
	販売段階	3.4	4.4	21.3	22.9								
	28年産米	0.0	2.0	19.8	21.2								
	1年古米(27年産)	3.0	2.0	1.3	1.4								
福井	出荷＋販売段階	15.9	15.9	51.9	77.4								
	28年産米	0.0	5.4	44.4	71.1								
	1年古米(27年産)	15.3	10.1	7.3	6.3								
	出荷段階	11.0	10.5	43.4	66.2								
	28年産米	0.0	3.6	38.5	64.0								
	1年古米(27年産)	10.8	6.8	4.8	2.2								
	販売段階	4.9	5.4	8.5	11.2								
	28年産米	0.0	1.7	5.8	7.1								
	1年古米(27年産)	4.5	3.3	2.5	4.1								
岐阜	出荷＋販売段階	11.8	11.0	12.4	18.1								
	28年産米	0.0	1.4	5.0	11.2								
	1年古米(27年産)	10.6	8.6	6.5	6.0								
	出荷段階	9.2	8.3	9.2	10.5								
	28年産米	0.0	1.1	4.0	9.0								
	1年古米(27年産)	8.9	6.9	5.2	1.4								
	販売段階	2.6	2.7	3.2	7.6								
	28年産米	0.0	0.3	1.0	2.1								
	1年古米(27年産)	1.7	1.6	1.3	4.6								
愛知	出荷＋販売段階	12.6	11.6	16.6	26.0								
	28年産米	0.0	2.4	10.1	22.3								
	1年古米(27年産)	12.2	8.8	6.2	3.6								
	出荷段階	11.0	9.7	13.4	20.4								
	28年産米	0.0	1.7	8.8	19.4								
	1年古米(27年産)	11.0	8.0	4.6	1.0								
	販売段階	1.6	1.9	3.1	5.5								
	28年産米	0.0	0.7	1.3	2.9								
	1年古米(27年産)	1.2	0.9	1.6	2.6								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑤（三重から奈良）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	8.4	21.6	47.9	50.0								
	28年産米	0.0	16.8	44.4	46.9								
	1年古米(27年産)	8.2	4.6	3.5	3.0								
	出荷段階	6.4	17.7	42.8	45.1								
	28年産米	0.0	14.3	40.1	43.0								
	1年古米(27年産)	6.3	3.3	2.7	2.1								
	販売段階	2.0	3.9	5.2	5.0								
	28年産米	0.0	2.5	4.2	3.9								
	1年古米(27年産)	1.9	1.3	0.8	1.0								
滋賀	出荷＋販売段階	15.8	14.1	47.8	66.4								
	28年産米	0.0	4.2	41.8	62.0								
	1年古米(27年産)	15.3	9.5	5.7	4.2								
	出荷段階	12.7	10.6	42.9	61.0								
	28年産米	0.0	3.7	39.3	58.4								
	1年古米(27年産)	12.4	6.6	3.4	2.4								
	販売段階	3.1	3.5	4.9	5.4								
	28年産米	0.0	0.4	2.5	3.6								
	1年古米(27年産)	2.9	2.9	2.3	1.8								
京都	出荷＋販売段階	5.1	3.0	6.5	10.2								
	28年産米	0.0	0.0	5.0	9.1								
	1年古米(27年産)	5.0	2.9	1.5	1.0								
	出荷段階	4.3	2.4	5.5	8.3								
	28年産米	0.0	0.0	4.5	8.2								
	1年古米(27年産)	4.2	2.3	1.1	0.1								
	販売段階	0.8	0.6	1.0	1.8								
	28年産米	0.0	0.0	0.5	1.0								
	1年古米(27年産)	0.7	0.5	0.4	0.9								
大阪	出荷＋販売段階	0.8	0.5	0.5	0.9								
	28年産米	0.0	0.0	0.3	0.8								
	1年古米(27年産)	0.7	0.5	0.2	0.1								
	出荷段階	0.7	0.4	0.5	0.9								
	28年産米	0.0	0.0	0.3	0.8								
	1年古米(27年産)	0.7	0.4	0.1	0.0								
	販売段階	0.1	0.1	0.0	0.0								
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(27年産)	0.1	0.1	0.0	0.0								
兵庫	出荷＋販売段階	14.9	11.3	27.2	39.1								
	28年産米	0.0	0.0	19.4	36.8								
	1年古米(27年産)	14.6	11.1	7.8	2.3								
	出荷段階	12.2	8.9	24.1	34.8								
	28年産米	0.0	0.0	18.1	34.2								
	1年古米(27年産)	12.2	8.9	6.0	0.5								
	販売段階	2.7	2.4	3.1	4.4								
	28年産米	0.0	0.0	1.2	2.6								
	1年古米(27年産)	2.4	2.1	1.8	1.7								
奈良	出荷＋販売段階	3.0	1.9	1.9	6.0								
	28年産米	0.0	0.0	1.0	5.3								
	1年古米(27年産)	2.6	1.6	0.7	0.5								
	出荷段階	2.2	1.2	0.9	4.4								
	28年産米	0.0	0.0	0.9	4.4								
	1年古米(27年産)	2.2	1.2	0.0	0.0								
	販売段階	0.8	0.7	1.0	1.5								
	28年産米	0.0	0.0	0.1	0.9								
	1年古米(27年産)	0.4	0.4	0.7	0.5								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑥（和歌山から山口）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	0.9	0.7	1.4	2.1								
	28年産米	0.0	0.0	1.0	1.8								
	1年古米(27年産)	0.8	0.6	0.3	0.2								
	出荷段階	0.6	0.5	1.2	2.0								
	28年産米	0.0	0.0	1.0	1.8								
	1年古米(27年産)	0.6	0.4	0.3	0.2								
	販売段階	0.4	0.2	0.1	0.1								
	28年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(27年産)	0.2	0.1	0.1	0.1								
鳥取	出荷＋販売段階	7.0	4.3	8.3	19.8								
	28年産米	0.0	0.0	5.8	18.1								
	1年古米(27年産)	6.9	4.3	2.5	1.7								
	出荷段階	5.2	2.9	6.7	17.6								
	28年産米	0.0	0.0	5.2	16.7								
	1年古米(27年産)	5.2	2.9	1.6	0.9								
	販売段階	1.8	1.4	1.5	2.2								
	28年産米	0.0	0.0	0.6	1.4								
	1年古米(27年産)	1.8	1.3	0.9	0.8								
島根	出荷＋販売段階	7.2	5.4	18.8	27.7								
	28年産米	0.0	1.0	16.0	26.0								
	1年古米(27年産)	7.0	4.3	2.7	1.6								
	出荷段階	5.6	4.0	16.9	24.8								
	28年産米	0.0	0.9	15.0	24.2								
	1年古米(27年産)	5.6	3.2	1.9	0.6								
	販売段階	1.6	1.3	1.9	2.9								
	28年産米	0.0	0.1	1.0	1.8								
	1年古米(27年産)	1.4	1.1	0.8	1.0								
岡山	出荷＋販売段階	17.3	12.7	16.3	30.5								
	28年産米	0.0	0.0	7.5	25.1								
	1年古米(27年産)	17.1	12.5	8.8	5.5								
	出荷段階	13.3	8.9	10.9	24.4								
	28年産米	0.0	0.0	6.2	22.7								
	1年古米(27年産)	13.2	8.7	4.7	1.7								
	販売段階	4.0	3.8	5.4	6.2								
	28年産米	0.0	0.0	1.2	2.4								
	1年古米(27年産)	3.9	3.7	4.1	3.8								
広島	出荷＋販売段階	9.9	7.3	21.6	40.3								
	28年産米	0.0	0.5	17.6	37.7								
	1年古米(27年産)	9.5	6.5	3.7	2.3								
	出荷段階	7.1	4.5	18.3	34.2								
	28年産米	0.0	0.4	16.5	34.2								
	1年古米(27年産)	7.1	4.1	1.9	0.0								
	販売段階	2.8	2.8	3.3	6.1								
	28年産米	0.0	0.1	1.2	3.6								
	1年古米(27年産)	2.4	2.4	1.8	2.3								
山口	出荷＋販売段階	12.9	10.6	19.7	31.9								
	28年産米	0.0	0.7	12.6	26.8								
	1年古米(27年産)	12.6	9.8	7.0	5.1								
	出荷段階	11.4	9.2	18.2	25.9								
	28年産米	0.0	0.5	12.0	25.9								
	1年古米(27年産)	11.4	8.7	6.2	0.1								
	販売段階	1.4	1.3	1.4	6.0								
	28年産米	0.0	0.1	0.5	1.0								
	1年古米(27年産)	1.2	1.1	0.8	5.0								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑦（徳島から佐賀）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	1.7	9.8	12.9	12.9								
	28年産米	0.0	8.6	12.0	12.1								
	1年古米(27年産)	1.7	1.2	0.9	0.7								
	出荷段階	0.4	7.5	9.5	8.6								
	28年産米	0.0	7.3	9.3	8.6								
	1年古米(27年産)	0.4	0.3	0.3	0.0								
	販売段階	1.4	2.3	3.4	4.2								
	28年産米	0.0	1.3	2.7	3.5								
	1年古米(27年産)	1.3	0.9	0.7	0.7								
香川	出荷+販売段階	7.2	5.7	7.4	15.1								
	28年産米	0.0	0.7	4.5	13.6								
	1年古米(27年産)	7.1	4.9	2.9	1.5								
	出荷段階	6.4	4.8	6.6	13.7								
	28年産米	0.0	0.6	4.2	13.1								
	1年古米(27年産)	6.4	4.2	2.4	0.5								
	販売段階	0.8	0.9	0.7	1.5								
	28年産米	0.0	0.1	0.2	0.4								
	1年古米(27年産)	0.7	0.7	0.5	1.0								
愛媛	出荷+販売段階	5.1	6.6	9.1	13.5								
	28年産米	0.0	2.7	6.1	11.1								
	1年古米(27年産)	4.6	3.6	2.7	2.1								
	出荷段階	4.5	6.1	8.4	12.8								
	28年産米	0.0	2.7	5.9	10.8								
	1年古米(27年産)	4.2	3.2	2.4	1.8								
	販売段階	0.6	0.6	0.6	0.7								
	28年産米	0.0	0.1	0.2	0.3								
	1年古米(27年産)	0.5	0.4	0.3	0.3								
高知	出荷+販売段階	2.9	10.4	9.4	11.0								
	28年産米	0.7	8.6	7.9	9.9								
	1年古米(27年産)	2.1	1.7	1.4	1.0								
	出荷段階	1.0	5.8	4.9	6.5								
	28年産米	0.5	5.5	4.7	6.3								
	1年古米(27年産)	0.4	0.2	0.2	0.1								
	販売段階	2.0	4.6	4.4	4.5								
	28年産米	0.3	3.1	3.2	3.6								
	1年古米(27年産)	1.7	1.4	1.2	0.9								
福岡	出荷+販売段階	20.9	15.3	26.0	44.2								
	28年産米	0.0	1.1	16.5	34.8								
	1年古米(27年産)	20.5	14.0	9.2	9.2								
	出荷段階	18.4	12.9	19.6	31.6								
	28年産米	0.0	0.6	11.6	27.6								
	1年古米(27年産)	18.2	12.2	8.0	3.9								
	販売段階	2.6	2.4	6.3	12.6								
	28年産米	0.0	0.5	4.9	7.2								
	1年古米(27年産)	2.3	1.8	1.3	5.3								
佐賀	出荷+販売段階	14.5	12.2	11.0	26.4								
	28年産米	0.1	1.6	3.9	22.9								
	1年古米(27年産)	14.3	10.5	7.1	3.5								
	出荷段階	13.1	10.7	9.5	22.0								
	28年産米	0.0	1.5	3.6	21.8								
	1年古米(27年産)	13.1	9.2	5.8	0.1								
	販売段階	1.3	1.4	1.6	4.4								
	28年産米	0.1	0.1	0.3	1.0								
	1年古米(27年産)	1.2	1.3	1.2	3.4								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑧（長崎から沖縄）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	4.8	4.2	4.0	8.0								
	28年産米	0.0	0.7	1.7	5.7								
	1年古米(27年産)	4.6	3.3	2.1	2.1								
	出荷段階	4.4	3.7	3.5	6.4								
	28年産米	0.0	0.6	1.6	5.3								
	1年古米(27年産)	4.4	3.0	1.8	1.0								
	販売段階	0.4	0.5	0.5	1.6								
	28年産米	0.0	0.1	0.1	0.3								
	1年古米(27年産)	0.3	0.3	0.3	1.2								
熊本	出荷＋販売段階	16.3	15.3	14.5	34.8								
	28年産米	0.0	3.5	6.7	30.4								
	1年古米(27年産)	16.2	11.8	7.8	4.4								
	出荷段階	11.7	10.8	9.4	24.6								
	28年産米	0.0	2.6	4.7	22.8								
	1年古米(27年産)	11.7	8.1	4.7	1.8								
	販売段階	4.6	4.6	5.1	10.2								
	28年産米	0.0	0.8	2.0	7.6								
	1年古米(27年産)	4.4	3.7	3.1	2.6								
大分	出荷＋販売段階	7.1	5.6	4.8	12.5								
	28年産米	0.0	0.5	2.0	10.8								
	1年古米(27年産)	6.9	5.0	2.8	1.7								
	出荷段階	5.3	4.0	3.0	8.6								
	28年産米	0.0	0.4	1.3	7.9								
	1年古米(27年産)	5.3	3.6	1.7	0.6								
	販売段階	1.8	1.6	1.8	3.9								
	28年産米	0.0	0.2	0.7	2.8								
	1年古米(27年産)	1.7	1.4	1.0	1.0								
宮崎	出荷＋販売段階	9.2	6.9	4.0	11.4								
	28年産米	5.6	4.3	2.7	10.6								
	1年古米(27年産)	3.5	2.5	1.2	0.7								
	出荷段階	7.1	4.1	1.0	7.9								
	28年産米	4.4	2.3	0.3	7.8								
	1年古米(27年産)	2.6	1.8	0.7	0.1								
	販売段階	2.1	2.8	3.0	3.5								
	28年産米	1.2	2.0	2.4	2.8								
	1年古米(27年産)	0.8	0.8	0.5	0.6								
鹿児島	出荷＋販売段階	10.1	10.9	8.5	16.1								
	28年産米	1.4	3.7	2.8	11.9								
	1年古米(27年産)	7.9	6.5	5.0	3.7								
	出荷段階	6.6	5.7	4.5	11.5								
	28年産米	0.7	0.6	0.4	8.4								
	1年古米(27年産)	5.4	4.6	3.6	2.7								
	販売段階	3.5	5.2	4.0	4.6								
	28年産米	0.8	3.0	2.4	3.4								
	1年古米(27年産)	2.5	2.0	1.4	1.0								
沖縄	出荷＋販売段階	0.5	0.3	0.3	0.2								
	28年産米	0.5	0.3	0.3	0.2								
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
	出荷段階	0.3	0.2	0.2	0.1								
	28年産米	0.3	0.2	0.2	0.1								
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.1								
	28年産米	0.2	0.1	0.1	0.1								
	1年古米(27年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

### Ⅲ 米の価格情報

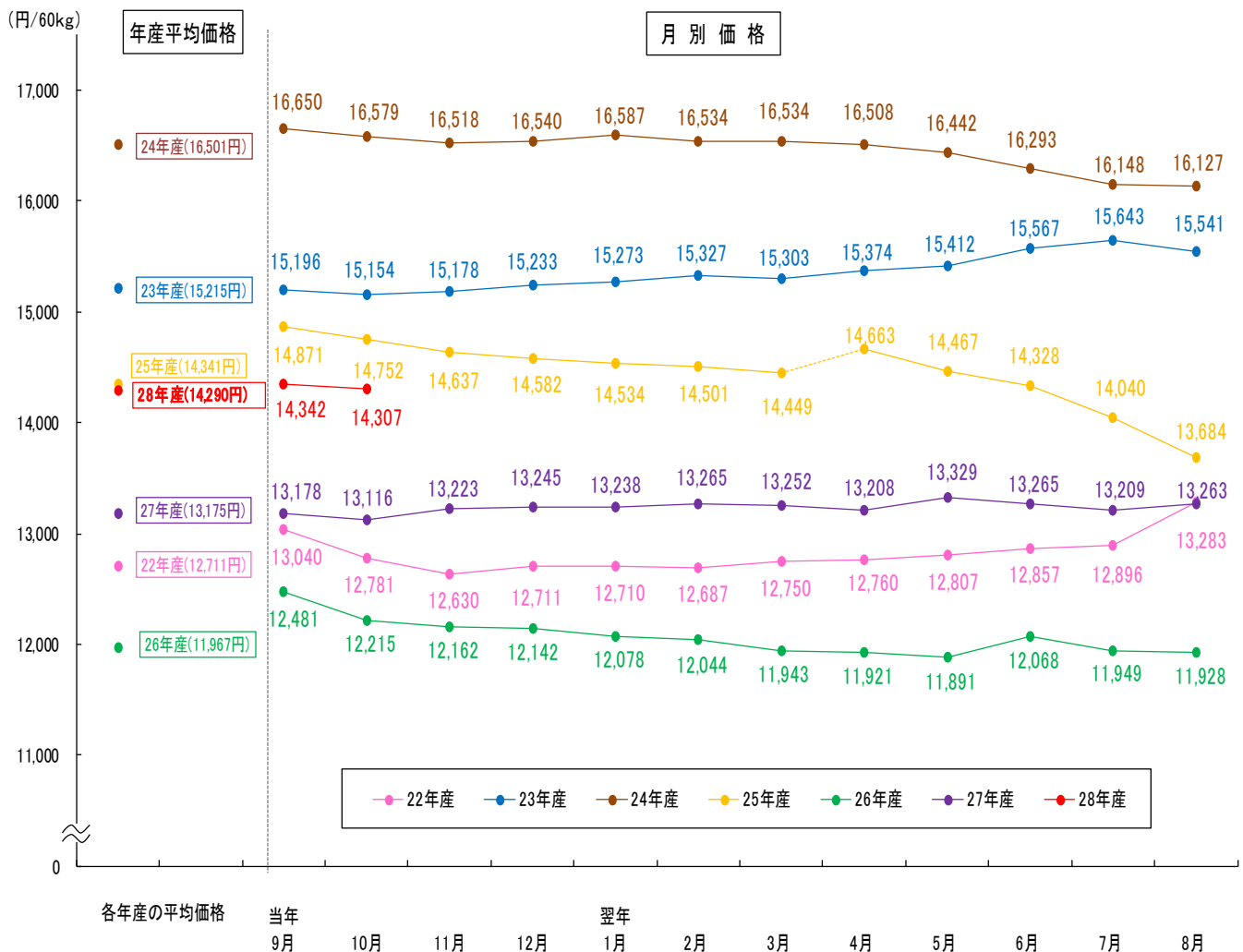
#### 1 相対取引価格・数量

##### (1) 相対取引価格（年産別）

- 平成28年産米の平成28年10月の全銘柄平均価格は、前年産の同時期と比べ+1,191円/60kg。

※ 産地銘柄ごとの価格は、20頁以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）  
（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税（5%。ただし、25年産の26年4月分以降は8%）が含まれている。

3 グラフの左側は各年産の平均価格（注4）、それ以降は月ごとの価格の推移。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（28年産は当年10月）までの通年平均価格。（27・28年産は速報値ベース）

## (2) 価格帯別分析結果（平成28年10月）

- 平成27年産米と平成28年産米の価格帯別平均価格を比較したところ、平成27年産の価格が13,000円以上の銘柄は+289円、11,000円未満の銘柄では+1,281円。
- 産地銘柄ごとでは、「山形県産ひとめぼれ」が最も上昇しており、次いで、「千葉県産ふさおとめ」、「福島県産天のつぶ」という状況。

### 価格帯別相対取引価格

単位：円/玄米60kg（税込）

	27年産の相対取引価格			
	13,000円以上の銘柄の平均	13,000円～12,000円の銘柄の平均	12,000円～11,000円の銘柄の平均	11,000円未満の銘柄の平均
27年産(出回り～28年8月) ①	14,614	12,640	11,612	10,838
28年産(28年10月) (27年産価格帯ベース) ②	14,903	13,678	11,557	12,119
価格差 ②-①	+ 289	+ 1,038	▲ 55	+ 1,281

### 平成27年産と平成28年産の価格差（相対取引価格上昇幅上位10銘柄）

単位：円/玄米60kg（税込）

			平成27年産 (出回り～平成28年8月) ①	平成28年産 (平成28年10月) ②	価格差 ②-①
山形	ひとめぼれ		13,278	15,696	+ 2,418
千葉	ふさおとめ		10,988	13,172	+ 2,184
福島	天のつぶ		10,528	12,554	+ 2,026
栃木	あさひの夢		11,397	13,418	+ 2,021
福島	コシヒカリ	浜通り	11,122	13,105	+ 1,983
茨城	あきたこまち		11,769	13,570	+ 1,801
栃木	なすひかり		12,020	13,813	+ 1,793
岡山	ヒノヒカリ		12,051	13,828	+ 1,777
福島	ひとめぼれ		11,136	12,863	+ 1,727
千葉	ふさこがね		11,120	12,789	+ 1,669

### (3) 相対取引価格・数量（平成28年産米、産地品種銘柄別、平成28年10月分）

#### 相対取引価格・数量①（北海道から栃木まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 28年産米 (28年10月) ①	数量 28年産米 (28年10月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				28年産米	27年産米	対前年比 ⑦/⑧
				28年産米 (28年9月) ③	対前月比 ①/③	27年産米 (27年10月) ④	対前年比 ①/④	28年産米 (28年9月) ⑤	対前月比 ②/⑤	27年産米 (27年10月) ⑥	対前年比 ②/⑥	〔出回り～ 28年10月〕 ⑦	〔出回り～ 28年8月〕 ⑧	
北海道	ななつぼし	14,114	29,869	14,200	99%	12,995	109%	34,808	86%	29,648	101%	14,160	13,115	108%
北海道	ゆめびりか	15,239	23,649	17,136	89%	16,447	93%	13,205	179%	7,574	312%	15,919	16,210	98%
北海道	きらら397	14,044	8,465	14,253	99%	12,497	112%	3,902	217%	11,686	72%	14,110	12,507	113%
青森	まっしぐら	13,172	5,763	12,988	101%	11,323	116%	729	791%	14,595	39%	13,166	11,571	114%
青森	つがるロマン	13,312	3,628	13,311	100%	11,556	115%	869	417%	11,776	31%	13,334	11,782	113%
岩手	ひとめぼれ	13,852	6,797	14,071	98%	12,954	107%	3,236	210%	4,247	160%	13,926	12,930	108%
岩手	あきたこまち	13,775	2,056	13,558	102%	11,991	115%	326	631%	3,131	66%	13,745	12,420	111%
岩手	いわてっこ	13,174	193	-	-	11,881	111%	-	-	243	79%	13,174	11,898	111%
宮城	ひとめぼれ	14,016	13,201	13,849	101%	12,782	110%	10,824	122%	12,493	106%	13,941	12,821	109%
宮城	ササニシキ	14,227	1,625	13,886	102%	12,813	111%	1,690	96%	2,757	59%	14,053	12,802	110%
宮城	つや姫	14,361	4,190	14,300	100%	13,485	106%	664	631%	2,733	153%	14,353	13,393	107%
秋田	あきたこまち	14,184	15,524	14,151	100%	12,805	111%	8,336	186%	28,024	55%	14,172	12,844	110%
秋田	めんこいな	13,200	263	-	-	11,836	112%	-	-	178	148%	13,200	11,922	111%
秋田	ひとめぼれ	13,652	851	-	-	12,007	114%	-	-	2,924	29%	13,652	12,068	113%
山形	はえぬき	13,907	3,099	13,842	100%	12,474	111%	5,550	56%	10,396	30%	13,917	12,445	112%
山形	つや姫	18,001	3,295	18,121	99%	17,946	100%	950	347%	3,878	85%	18,028	17,953	100%
山形	ひとめぼれ	15,696	3,237	14,128	111%	13,854	113%	877	369%	1,082	299%	15,364	13,278	116%
福島	コシヒカリ(中通り)	13,660	1,351	13,423	102%	11,788	116%	126	1072%	4,166	32%	13,635	12,043	113%
福島	コシヒカリ(会津)	14,434	1,615	14,938	97%	13,375	108%	308	524%	1,540	105%	14,432	13,426	107%
福島	コシヒカリ(浜通り)	13,105	228	13,105	100%	11,432	115%	108	211%	362	63%	13,105	11,122	118%
福島	ひとめぼれ	12,863	3,141	13,276	97%	10,782	119%	637	493%	3,415	92%	12,905	11,136	116%
福島	天のつぶ	12,554	588	12,889	97%	10,755	117%	108	544%	1,436	41%	12,606	10,528	120%
茨城	コシヒカリ	13,875	5,227	13,302	104%	12,573	110%	26,848	19%	7,015	75%	13,398	12,644	106%
茨城	あきたこまち	13,570	1,031	13,033	104%	11,778	115%	5,567	19%	1,440	72%	13,177	11,769	112%
茨城	ゆめひたち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,788	-
栃木	コシヒカリ	13,875	4,322	13,653	102%	12,677	109%	5,461	79%	24,631	18%	13,751	12,907	107%
栃木	あさひの夢	13,418	748	-	-	11,328	118%	-	-	1,074	70%	13,424	11,397	118%
栃木	なすひかり	13,813	501	13,556	102%	-	-	278	180%	-	-	13,721	12,020	114%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。  
ただし、全農が締結する「福島、茨城、鳥取、岡山、高知」の契約では、27年産から契約方法を見直し、これまでの運賃（東京、大阪着基準）を含めた契約方法から、産地在産での契約方法に変更したため、当該産地の相対取引価格には全農契約分の運賃が含まれていない。
- 3 価格に含む消費税は、平成26年4月分から8%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。
- 6 全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。
- 7 ④及び⑥は前年産の価格、数量である。
- 8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。
- 9 斜線は、当該年産米において産地品種銘柄の報告対象でなかったもの。



相対取引価格・数量②（群馬から兵庫まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 28年産米 (28年10月) ①	数量 28年産米 (28年10月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				28年産米 (28年10月) ⑦ 〔出回り～ 28年10月〕	27年産米 (27年10月) ⑧ 〔出回り～ 28年8月〕	対前年比 ⑦/⑧
				28年産米 (28年9月) ③	対前月比 ①/③	27年産米 (27年10月) ④	対前年比 ①/④	28年産米 (28年9月) ⑤	対前月比 ②/⑤	27年産米 (27年10月) ⑥	対前年比 ②/⑥			
				③	①/③	④	①/④	⑤	②/⑤	⑥	②/⑥	⑦	⑧	⑦/⑧
群馬	あさひの夢	13,522	120	-	-	-	-	-	-	-	-	13,522	11,923	113%
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,539	-
埼玉	彩のかがやき	13,079	2,769	12,797	102%	11,720	112%	109	2540%	2,178	127%	-	11,872	110%
埼玉	コシヒカリ	13,629	1,529	13,651	100%	12,844	106%	749	204%	1,193	128%	13,636	12,878	106%
埼玉	彩のきずな	12,819	358	-	-	-	-	-	-	-	-	12,787	-	-
千葉	コシヒカリ	13,914	1,692	13,593	102%	12,360	113%	8,055	21%	3,891	43%	13,611	12,530	109%
千葉	ふさこがね	12,789	406	12,756	100%	11,215	114%	3,303	12%	1,473	28%	12,693	11,120	114%
千葉	ふさおとめ	13,172	1,036	13,015	101%	10,894	121%	2,388	43%	985	105%	12,909	10,988	117%
山梨	コシヒカリ	17,039	311	-	-	16,732	102%	-	-	321	97%	17,039	15,955	107%
山梨	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,369	-
長野	コシヒカリ	14,654	4,674	14,572	101%	13,696	107%	3,661	128%	8,029	58%	14,618	13,782	106%
長野	あきたこまち	13,631	492	13,600	100%	12,510	109%	929	53%	728	68%	13,611	12,485	109%
静岡	コシヒカリ	14,655	193	14,755	99%	14,074	104%	385	50%	261	74%	14,971	14,240	105%
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,615	-
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,633	-
新潟	コシヒカリ(一般)	16,517	10,606	16,599	100%	15,955	104%	13,994	76%	18,485	57%	16,564	16,186	102%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,848	2,620	20,803	100%	20,383	102%	2,774	94%	3,329	79%	20,825	20,439	102%
新潟	コシヒカリ(岩船)	17,037	1,053	17,038	100%	16,449	104%	2,891	36%	1,510	70%	17,038	16,629	102%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	17,046	1,401	17,012	100%	16,451	104%	2,168	65%	1,354	103%	17,025	16,599	103%
新潟	こしいぶき	13,668	1,586	13,615	100%	12,283	111%	4,916	32%	2,872	55%	13,628	12,412	110%
富山	コシヒカリ	15,336	4,206	15,428	99%	14,305	107%	11,072	38%	7,461	56%	15,418	14,230	108%
富山	てんたかく	13,822	529	14,048	98%	12,690	109%	1,034	51%	915	58%	13,988	12,563	111%
石川	コシヒカリ	15,171	349	14,731	103%	14,076	108%	5,340	7%	436	80%	14,758	13,901	106%
石川	ゆめみづほ	-	-	13,186	-	11,880	-	3,033	-	144	-	13,183	11,911	111%
福井	コシヒカリ	15,241	1,143	15,091	101%	14,239	107%	2,163	53%	1,102	104%	15,143	14,204	107%
福井	ハナエチゼン	13,511	1,575	13,544	100%	12,491	108%	1,729	91%	1,248	126%	13,539	12,519	108%
岐阜	ハツシモ	14,009	947	-	-	13,306	105%	-	-	970	98%	14,007	12,784	110%
岐阜	コシヒカリ	15,818	1,234	14,686	108%	14,964	106%	536	230%	892	138%	15,475	14,318	108%
岐阜	あきたこまち	-	-	13,239	-	12,560	-	445	-	324	-	13,167	12,536	105%
愛知	あいちのかおり	13,368	882	-	-	12,164	110%	-	-	4,607	19%	13,368	12,377	108%
愛知	コシヒカリ	13,751	262	13,522	102%	-	-	114	230%	-	-	13,629	13,209	103%
愛知	大地の風	13,259	143	-	-	11,705	113%	-	-	673	21%	13,259	12,053	110%
三重	コシヒカリ(一般)	14,185	728	14,207	100%	13,574	105%	931	78%	726	100%	14,204	13,625	104%
三重	コシヒカリ(伊賀)	14,638	433	14,647	100%	13,990	105%	387	112%	387	112%	14,645	14,125	104%
三重	キヌヒカリ	-	-	-	-	12,491	-	-	-	317	-	13,171	12,558	105%
滋賀	コシヒカリ	14,359	1,469	14,166	101%	13,618	105%	7,174	20%	4,346	34%	14,235	13,600	105%
滋賀	キヌヒカリ	12,883	935	13,108	98%	12,134	106%	1,766	53%	1,050	89%	13,206	12,258	108%
滋賀	日本晴	12,999	576	13,072	99%	11,836	110%	697	83%	320	180%	13,039	11,861	110%
京都	コシヒカリ	15,225	1,260	16,030	95%	13,841	110%	943	134%	735	171%	15,578	14,109	110%
京都	キヌヒカリ	13,064	178	13,404	97%	12,324	106%	206	86%	225	79%	13,247	12,729	104%
兵庫	コシヒカリ	15,034	776	15,168	99%	14,405	104%	1,300	60%	1,089	71%	15,118	14,465	105%
兵庫	ヒノヒカリ	12,850	327	-	-	11,485	112%	-	-	296	110%	12,850	11,984	107%
兵庫	キヌヒカリ	12,856	421	12,887	100%	11,490	112%	136	310%	536	79%	12,864	11,952	108%

注：本表の注意点は、前頁の脚注を参照。

相対取引価格・数量③（奈良から鹿児島まで）

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	価格 28年産米 (28年10月)	数量 28年産米 (28年10月)	参考								年産平均価格		
				価格				数量				27年産米	27年産米	対前年比
				28年産米 (28年9月)	対前月比	27年産米 (27年10月)	対前年比	28年産米 (28年9月)	対前月比	27年産米 (27年10月)	対前年比	〔出回り～ 28年10月〕	〔出回り～ 28年8月〕	
				③	①/③	④	①/④	⑤	②/⑤	⑥	②/⑥	⑦	⑧	
奈良	ヒノヒカリ	12,957	357	-	-	12,609	103%	-	-	354	101%	12,957	12,164	107%
奈良	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,140	12,517	105%
鳥取	コシヒカリ	13,920	410	13,882	100%	13,299	105%	246	167%	398	103%	13,906	13,309	104%
鳥取	きぬむすめ	13,142	420	-	-	12,455	106%	-	-	287	146%	13,142	12,317	107%
鳥取	ひとめぼれ	13,056	865	13,018	100%	12,154	107%	590	147%	348	249%	13,041	12,113	108%
島根	コシヒカリ	14,981	1,226	14,723	102%	13,626	110%	3,087	40%	1,445	85%	14,664	13,602	108%
島根	きぬむすめ	13,381	3,141	13,304	101%	12,718	105%	2,993	105%	1,112	282%	13,343	12,509	107%
島根	つや姫	15,224	180	13,816	110%			1,363	13%			14,099		
岡山	アケボノ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,536	-
岡山	あきたこまち	-	-	13,814	-	12,073	-	1,119	-	453	-	13,823	11,885	116%
岡山	ヒノヒカリ	13,828	170	-	-	12,022	115%	-	-	273	62%	13,828	12,051	115%
広島	コシヒカリ	14,312	2,511	14,405	99%	12,933	111%	1,513	166%	1,332	189%	14,340	12,931	111%
広島	あきろまん	13,142	776	13,249	99%	11,920	110%	183	424%	414	187%	13,162	11,983	110%
広島	ヒノヒカリ	12,884	266	-	-	11,701	110%	-	-	182	146%	12,884	11,754	110%
山口	コシヒカリ	14,363	404	14,278	101%	13,699	105%	887	46%	1,084	37%	14,368	13,739	105%
山口	ひとめぼれ	13,182	561	13,122	100%	12,565	105%	517	109%	467	120%	13,203	12,675	104%
山口	ヒノヒカリ	-	-	13,179	-	12,643	-	672	-	549	-	13,216	12,727	104%
徳島	コシヒカリ	14,659	132	-	-	13,446	109%	-	-	299	44%	14,179	13,095	108%
徳島	キヌヒカリ	-	-	13,608	-	11,776	-	360	-	321	-	13,608	11,561	118%
香川	ヒノヒカリ	13,151	222	-	-	12,303	107%	-	-	464	48%	13,151	12,330	107%
香川	コシヒカリ	13,877	513	13,888	100%	13,422	103%	540	95%	492	104%	13,895	13,347	104%
愛媛	コシヒカリ	13,126	298	13,688	96%	12,373	106%	406	73%	361	83%	13,615	12,538	109%
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	11,918	-	-	-	104	-	-	11,730	-
愛媛	あきたこまち	12,365	109	13,081	95%	11,623	106%	129	84%	155	70%	12,831	11,738	109%
高知	コシヒカリ	14,346	121	15,050	95%	-	-	668	18%	-	-	15,153	13,511	112%
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,630	-
福岡	夢つくし	15,679	1,019	16,019	98%	15,093	104%	2,187	47%	943	108%	15,920	15,216	105%
福岡	ヒノヒカリ	14,188	913	-	-	13,565	105%	-	-	872	105%	14,188	13,490	105%
福岡	元氣つくし	15,735	1,763	-	-	15,161	104%	-	-	1,451	122%	15,735	15,027	105%
佐賀	さがびより	14,242	422	-	-	14,265	100%	-	-	205	206%	14,242	14,175	100%
佐賀	夢しずく	13,321	671	13,621	98%	13,190	101%	203	331%	697	96%	13,391	12,958	103%
佐賀	ヒノヒカリ	13,146	126	-	-	12,683	104%	-	-	249	51%	13,146	12,643	104%
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,180	-
長崎	ヒノヒカリ	14,477	151	-	-	13,944	104%	-	-	134	113%	14,477	13,857	104%
長崎	コシヒカリ	15,199	140	15,160	100%	14,730	103%	153	92%	113	124%	15,350	14,785	104%
熊本	ヒノヒカリ	14,139	260	-	-	13,403	105%	-	-	781	33%	14,139	13,577	104%
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	14,100	-	-	-	173	-	-	14,322	-
熊本	コシヒカリ	15,736	421	14,942	105%	14,373	109%	446	94%	607	69%	15,319	14,531	105%
大分	ヒノヒカリ	14,059	665	-	-	13,273	106%	-	-	1,011	66%	14,059	13,196	107%
大分	ひとめぼれ	14,487	112	-	-	13,513	107%	-	-	108	104%	14,423	13,404	108%
宮崎	コシヒカリ	-	-	14,061	-	-	-	1,211	-	-	-	14,716	14,266	103%
宮崎	ヒノヒカリ	14,330	192	-	-	13,635	105%	-	-	376	51%	14,330	13,602	105%
鹿児島	ヒノヒカリ	14,628	138	-	-	13,375	109%	-	-	821	17%	14,628	14,216	103%
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,796	-
鹿児島	コシヒカリ	-	-	15,403	-	-	-	110	-	-	-	15,216	14,414	106%
全銘柄平均価格、合計数量		14,307	214,110	14,342	100%	13,116	109%	230,528	93%	288,422	74%	14,290	13,175	108%

注:本表の注意点は、前々頁の脚注を参照。

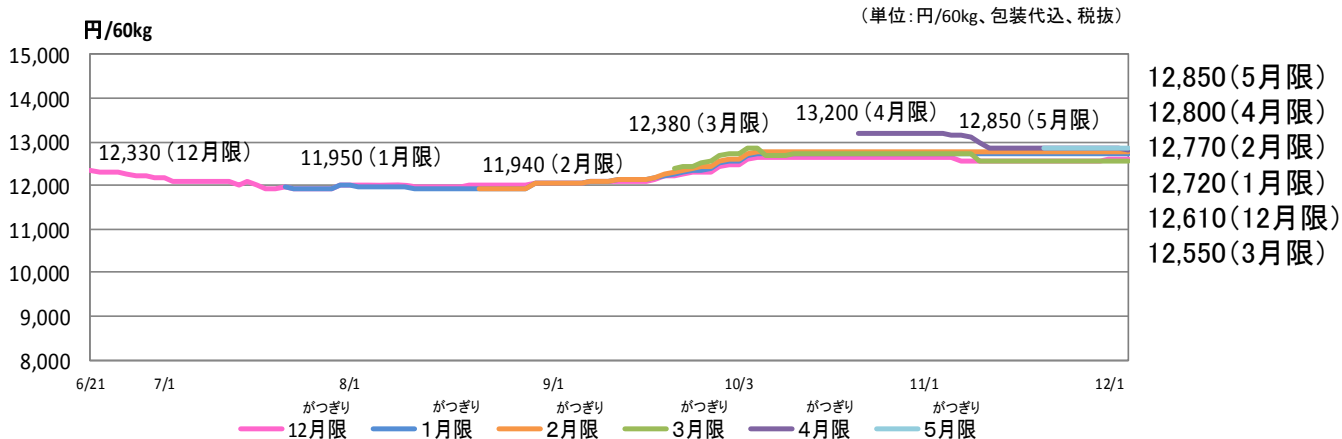


## 2 米の先物取引価格の推移

- 米の先物取引価格(12月5日)は、先月(11月4日)に比べ終値で、東京コメが▲390円/60kg(4月限)～±0円/60kg(1、2月限)、大阪コメが▲530円/60kg(1月限)～▲40円/60kg(3月限)。

### ①東京コメ

税抜価格

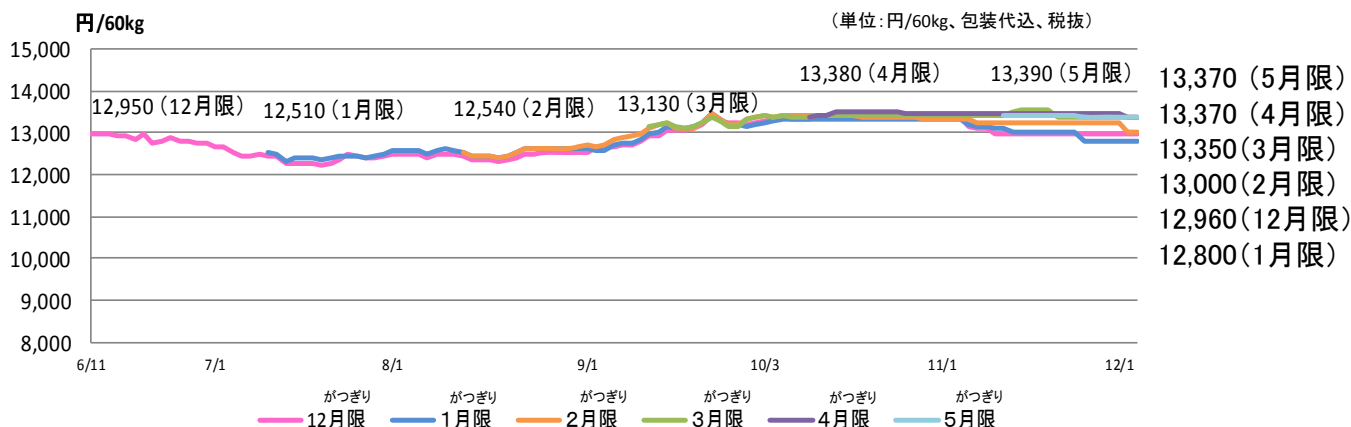


出典:大阪堂島商品取引所

注:取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

### ②大阪コメ

税抜価格

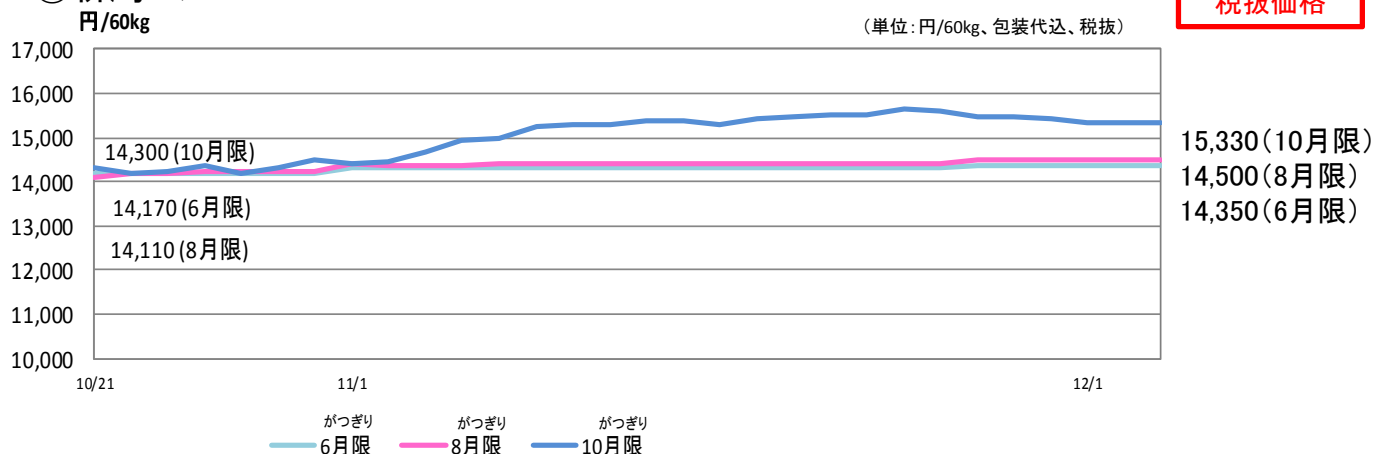


出典:大阪堂島商品取引所

注:取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

### ③新潟コシ

税抜価格



出典:大阪堂島商品取引所

注:取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

### 3 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成28年11月分)

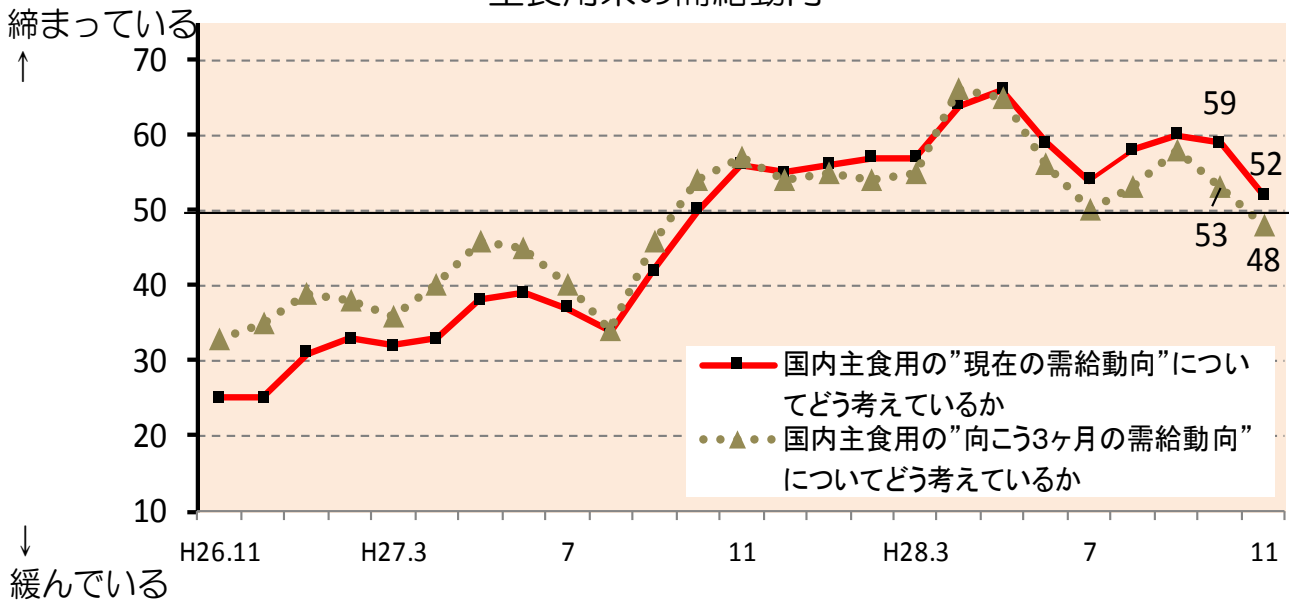
- 米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(平成28年11月分)によると、主食用米の需給動向は、前月に比べ現状判断は▲7ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲5ポイント。

#### 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

##### ① 主食用米の需給動向

- (ア) 現状判断D I 前月からの増減 ▲ 7 (今月の数値 52)  
 (イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月) 前月からの増減 ▲ 5 (今月の数値 48)

#### 主食用米の需給動向



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来) 締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来) 緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

以上の他、「自社の取引状況に関する判断(業態ごと)」など  
 詳細な情報は、米穀機構ホームページ(米ネット)を参照ください。  
 【<http://www.komenet.jp/>】  
 また、マンスリーレポート(資料編)にも掲載しております。

##### 《アンケート方法等》

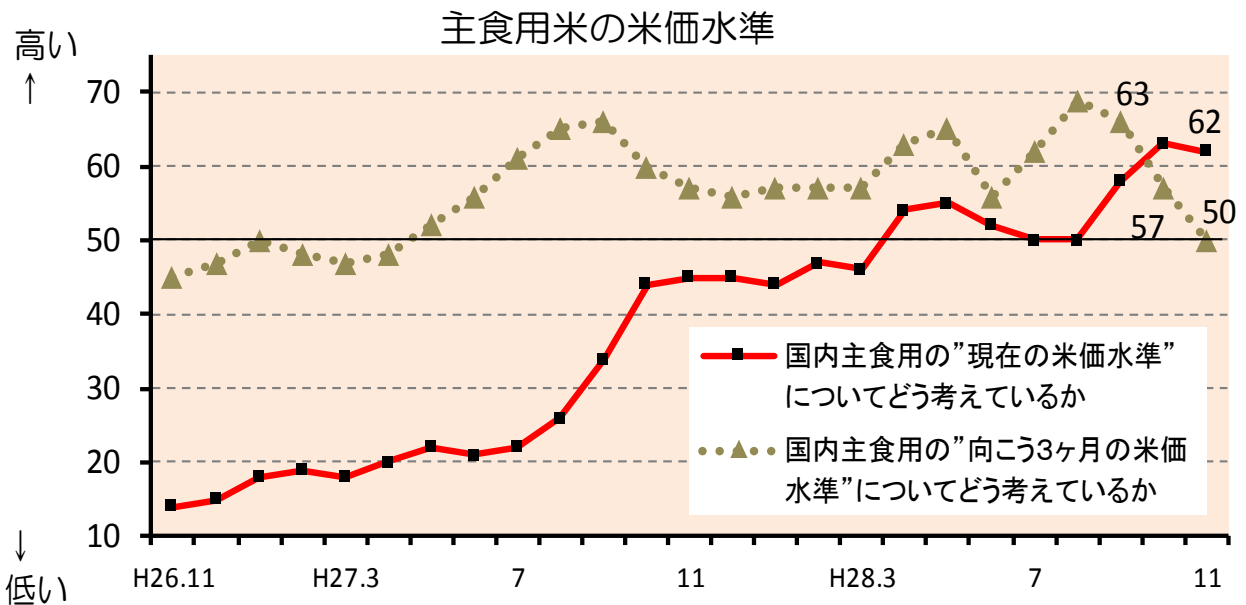
- 調査期間: 毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法: 電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者: 全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体
- 有効回答数: 133客体
  - 生産者…………… 10
  - 集出荷業者/団体…………… 26
  - 卸売業者(主に主食用米) …… 26
  - 小売業者/中食・外食業者 …… 54
  - その他…………… 17

※「その他」は以下の業者です。  
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者  
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

- 米価水準は、前月に比べ現状判断は▲1ポイント、見通し（向こう3ヶ月）判断は▲7ポイント。

② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI 前月からの増減 ▲1 (今月の数値 62)  
 (イ) 見通し判断DI (向こう3ヶ月) 前月からの増減 ▲7 (今月の数値 50)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

《利用上の注意》

○ 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

(DIの算出例)

問: 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

## Ⅳ 主食用米以外（輸出を含む）

### 1 28年産米の作付状況

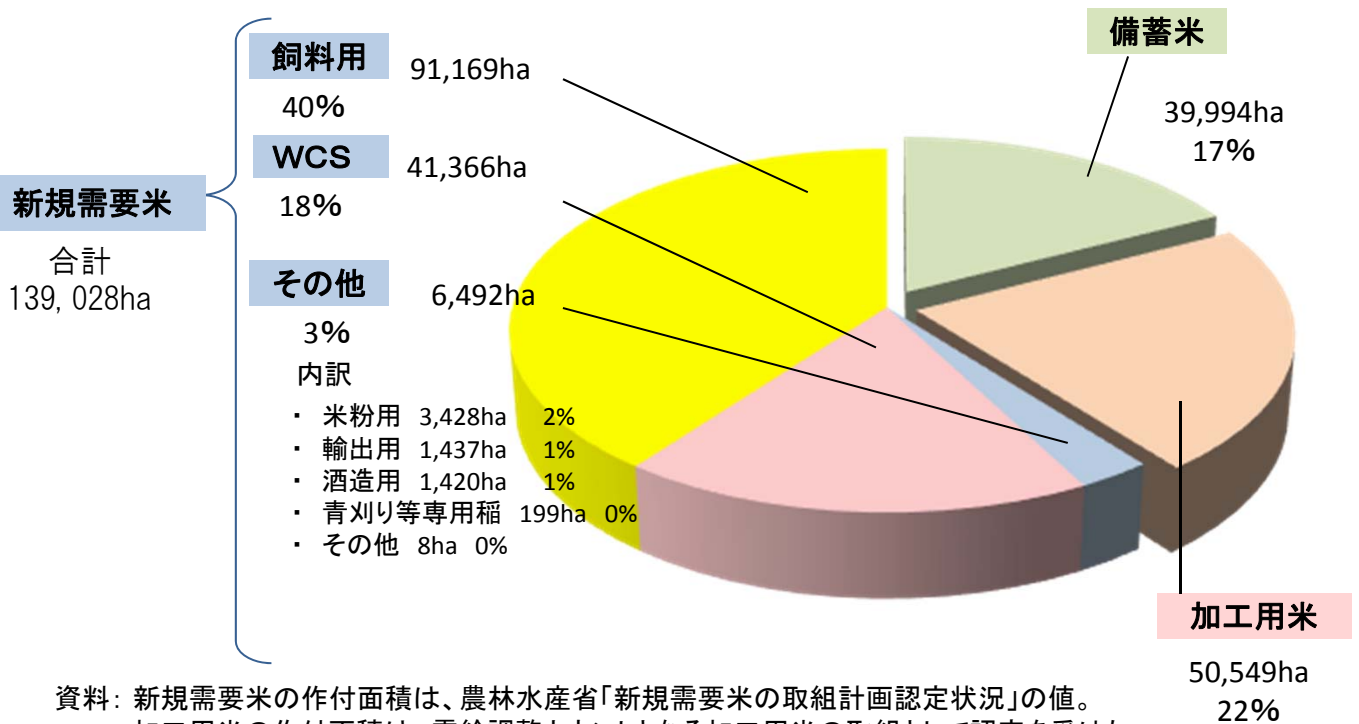
- 平成28年産米の作付面積は、主食用米が138.1万ha、主食用米以外が約23万ha。
- 主食用米以外の取組は、新規需要米13.9万ha、加工用米5.1万ha、備蓄米4.0万ha。

#### (1) 28年産米の用途別作付面積及び生産量

	計	主食用米	新規需要米	加工用米	備蓄米
作付面積 (万ha)	161.1	138.1	13.9	5.1	4.0
生産量 (万トン)		752	52	28	23

※WCS、青刈り等専用稲は生産量に計上していない

#### (2) 主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）



資料：新規需要米の作付面積は、農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」の値。

加工用米の作付面積は、需給調整カウントとなる加工用米の取組として認定を受けた平成28年9月15日現在の値。

備蓄米作付面積は、都道府県農業再生協議会からの28年度報告値。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成28年9月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

#### (3) 新規需要米の用途別認定状況

	新規需要米(28年産)							
	合計	飼料用	米粉用	輸出用	酒造用	稲発酵粗飼料稲	青刈り等専用稲	その他
作付面積 (ha)	139,028	91,169	3,428	1,437	1,420	41,366	199	8
計画生産量 (ト)	515,200	481,468	18,454	7,950	7,309			19

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成28年9月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

注3：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

## 2 飼料用米の需要量

- 畜産側の平成28年産に係る飼料用米の需要量は、約120万トン。
  - ① 全農グループ飼料会社：年間約56万トン（米使用可能数量約82万トンのうちMA米・備蓄米含まない数量）
  - ② (協)日本飼料工業会組合員工場：年間約61万トン（MA米・備蓄米を含まない数量）
  - ③ 全国酪農農業協同組合連合会の年間使用可能数量は、約1万トン（MA米、備蓄米を含む数量）
  - ④ 日本養鶏連の年間使用量は、約3万トン（MA米、備蓄米を含む数量）
  - ⑤ 畜産農家の新規需要量：112件、約3万トン（平成28年6月30日現在の報告分。追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は以下のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量（平成27年12月現在）

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備考
北海道	88	ホクレンくみあい飼料
東北	217	JA全農北日本くみあい飼料
関東	146	JA東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	30	JA東日本くみあい飼料
東海	46	〃
近畿・中国	46	JA西日本くみあい飼料
四国	32	〃
北九州	49	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	162	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合計	817	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。

※問い合わせ先: JA全農 営農販売企画部飼料用米対策課 TEL: 03-6271-8279

② 日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量（平成27年11月調査）

地区	需要量 (千トン: 単年度)	(参考) 中長期需要量注2 (千トン: 単年度)
北海道	36	147
東北	155	305
関東	109	405
中部	49	207
関西	82	277
九州	177	623
合計	608	1,964

注1) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量。

注2) 新たな設備投資等を含め、中長期的にみた日本飼料工業会組合員飼料メーカーの需要量。(平成26年3月調査)

注3) 上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。

注4) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※(協)日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー(工場)との仲介を実施。

※問い合わせ先: 「飼料用米ダイヤル」TEL: 03-3583-8031 E-mail: Esamai@jafma.or.jp

③ 全国酪農農業協同組合連合会の飼料用米の使用可能数量（平成28年5月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン)	備考
北海道	8.4	政府所有米穀(MA米)使用
東北	2.0	政府所有米穀と新規需要米併用
関東	0.8	政府所有米穀と新規需要米併用
中部	0.4	新規需要米使用
関西	1.0	政府所有米穀と新規需要米併用
九州	0.0	原料タンクの調整が必要
合計	12.6	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。

※輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量

※四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※問い合わせ先: 全国酪農農業協同組合連合会 購買部飼料製造課 TEL: 03-5931-8007

④ 日本養鶏連の飼料用米の使用可数量（平成28年4月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン: 単年度)	備考
北海道	0.0	
東北	0.5	*粳米、不可
関東	1.5	
北陸	0.0	
東海	1.2	
近畿・中国	4.0	*粳米、不可
四国	0.0	
九州	19.5	*一部、粳米不可
合計	26.7	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。

※輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量

※四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※問い合わせ先: 日本養鶏連 事業部 TEL: 03-5296-7041



⑤ 畜産農家の28年産飼料用米の新規需要量（平成28年6月30日現在）

都道府県	新規需要量		確保済み	
	件数	数量（トン）	件数	数量（トン）
北海道	3	1,002	1	1,000
宮城県	1	2,400	1	2,400
茨城県	7	226	3	80
群馬県	8	999	2	23
埼玉県	1	120		
千葉県	4	1,370	0	580
山梨県	14	431	4	69
長野県	9	278	8	256
静岡県	6	905		
愛知県	10	1,709	8	1,355
京都府	1	60		
大阪府	1	5		
兵庫県	10	1,851		
奈良県	5	1,610	2	380
和歌山県	1	50		
島根県	1	400	1	400
広島県	2	9		
徳島県	2	2,005	1	0
香川県	4	100		
福岡県	1	1,200	0	900
佐賀県	5	3,010		
長崎県	10	1,740	0	30
大分県	3	2,125	2	1,625
宮崎県	2	1,964	1	1,748
鹿児島県	1	1,800		
<b>合計</b>	<b>112</b>	<b>27,369</b>	<b>34</b>	<b>10,846</b>

※供給先が確保されていない新たな需要及びマッチング状況について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載（現在とりまとめ中の都道府県もあり）

※追加の希望があれば随時更新

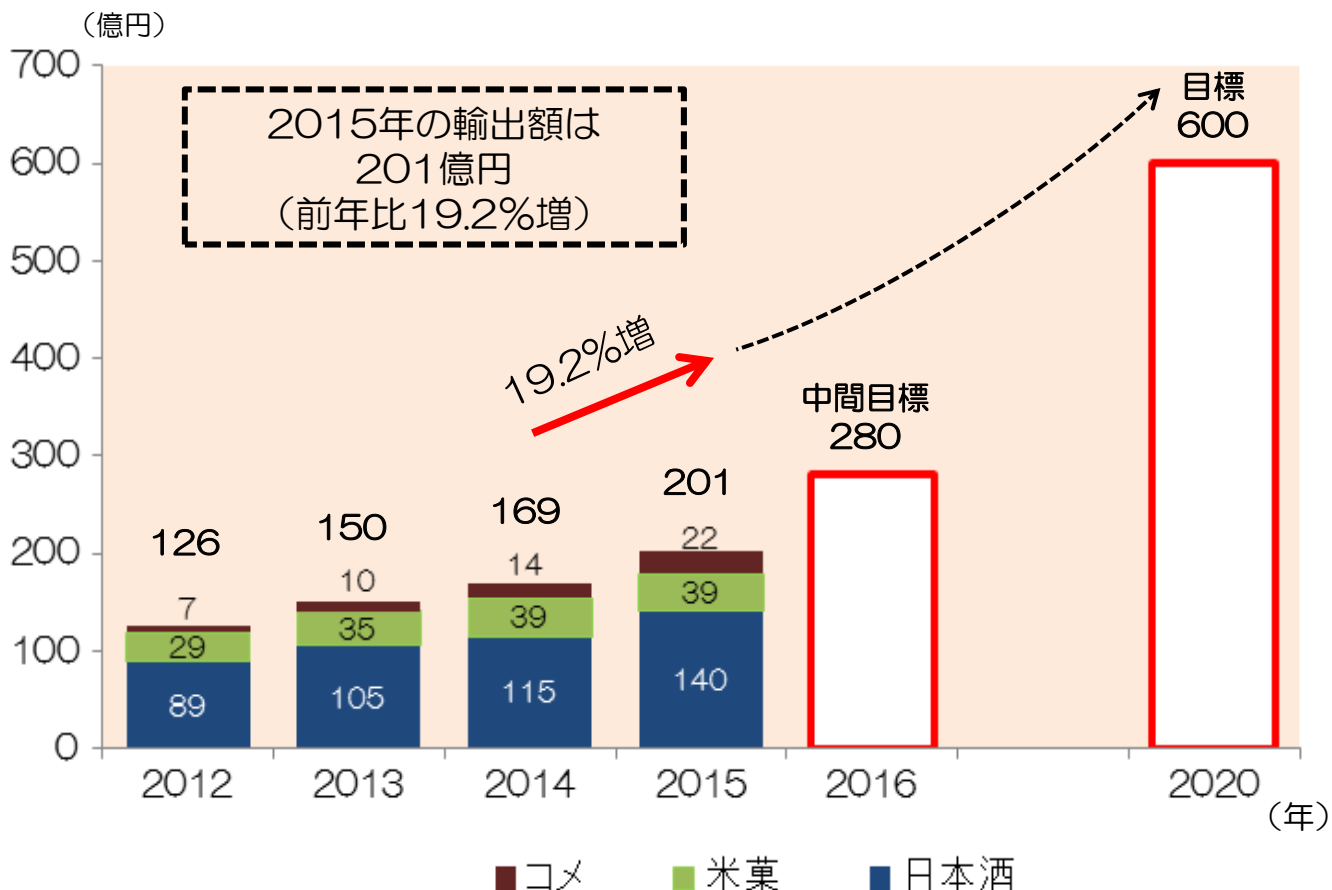
※確保済みの件数については、一部確保済みの場合も含む

※問い合わせ先：生産局畜産部飼料課 TEL：03-3502-5993

### 3 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を2020年（平成32年）までに600億円とすることとし、オールジャパンでの輸出拡大を推進。
- 2015年の輸出額は、201億円（前年比19.2%増）。

#### コメ・コメ加工品の輸出状況



#### コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

	日本酒		米菓		コメ	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
2012年	14,131	8,946	3,123	2,902	2,202	726
2013年	16,202	10,524	3,606	3,487	3,121	1,030
2014年	16,314	11,507	4,012	3,944	4,516	1,428
2015年	18,180	14,011	3,679	3,869	7,640	2,234

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）  
注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

## コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

### 2020年に向けた輸出額目標

「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を、平成32年までに600億円とすることとしている。

### 輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

#### 【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

##### ★重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等  
安定市場：香港、シンガポール



#### 【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

##### ★重点国

新興市場：中東、中国、EU  
安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国



#### 【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

##### ★重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国  
安定市場：米国、香港



### 輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

〈日本産米輸出の統一ロゴマーク〉



THIS IS  
JAPAN QUALITY  
日本のおいしい米。



（注）QRコードから、日本産米のPR映像が流れるHPへリンク

## V 支援事業等

### (1) 水田活用の直接支払交付金

- 水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力を向上。

### 水田活用の直接支払交付金(1)

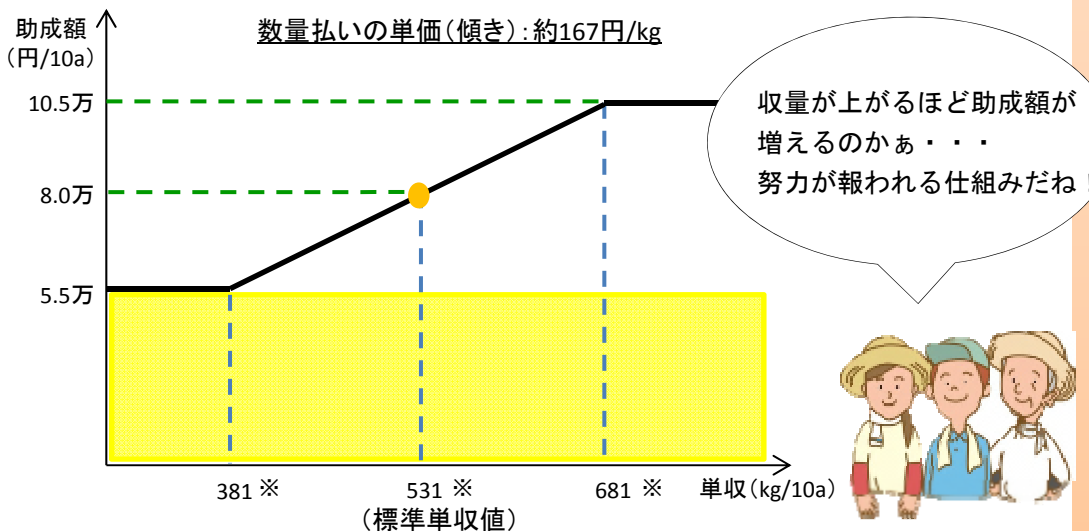
【平成29年度予算概算要求額:3,322(3,078)億円】

#### (1) 支援内容

##### ① 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55,000円～105,000円/10a

#### <飼料用米、米粉用米の交付単価のイメージ>



- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量の確認を受けていることを条件とします。
- ※は全国平均の平年単収(標準単収値)に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収(配分単収)を適用します。なお、28年度からは、各地域における標準単収値を当年産の作柄に応じて調整します。

## 水田活用の直接支払交付金(2)

### ② 二毛作助成

- 水田における主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を支援します。

15,000円/10a

作付パターン(例)	交付金額(10a当たり)
主食用米 + 麦	(米の直接支払) + <u>1.5万円</u>
麦 + 大豆	3.5万円 + <u>1.5万円</u>
飼料用米 + 麦	5.5~10.5万円 + <u>1.5万円</u>
米粉用米 + 飼料用米	5.5~10.5万円 + <u>1.5万円</u>



### ③ 耕畜連携助成

- 耕畜連携の取組(飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環)を支援します。

13,000円/10a

### ④ 産地交付金

- 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援します。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容(交付対象作物・取組・単価等)を設定できます。
- また、地域の取組に応じた追加配分(下表参照)を行います。

対象作物	取組内容	追加配分単価
飼料用米 米粉用米	多収品種への取組	12,000円/10a
加工用米	複数年契約(3年間)の取組	12,000円/10a
備蓄米	平成28年産政府備蓄米の買入入札における落札 ※ 平成23年度に県別優先枠として配分した6万トンについては対象外。	7,500円/10a
そば なたね	作付の取組	20,000円/10a(基幹作) 15,000円/10a(二毛作)

なお、主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回ることとなる都道府県に対して追加配分(5,000円/10a)します。

# 水田活用の直接支払交付金の支払面積等(1)

- 支払対象者数は47万8千件で、平成26年度の支払実績と比べて1万8千件減少。
- 支払面積は、戦略作物全体では55万5千haと、平成26年度に比べて6万4千ha増加。
- 作物別には、
  - (ア) 麦は、全国的に作付けがやや増加し、3千ha増の17万1千ha
  - (イ) 大豆は、全国的に作付けが増加し、7千ha増の11万3千ha
  - (ウ) 飼料作物は、北海道、東北、九州地方を中心に作付けがやや増加、1千ha増の10万3千ha。
  - (エ) 新規需要米（WCS用稲、米粉用米、飼料用米）は、主食用米からの転換が全国的に進み、三品目全てで作付けが増加、5万4千ha増の12万2千ha。
  - (オ) 加工用米は、2千ha減の4万6千ha。

## (1) 水田活用の直接支払交付金の支払対象者数

	支払対象者数 (件)	支払対象者数		
		個人	法人	集落営農
平成27年度	478,293	461,858	9,931	6,504
平成26年度	496,286	480,885	8,960	6,441
対前年度比較	▲ 17,993	▲ 19,027	+ 971	+ 63

## (2) 水田活用の直接支払交付金における戦略作物の支払面積、支払数量

### ① 基幹作物＋二毛作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)		
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね	備蓄米
平成27年度	170,590	113,016	103,234	121,533	37,860	4,206	79,467	46,157	554,529	34,125	585	43,771
平成26年度	167,451	105,690	101,736	67,926	30,669	3,372	33,885	48,051	490,855	34,735	497	43,876
対前年度比較	+ 3,139	+ 7,326	+ 1,497	+ 53,606	+ 7,190	+ 833	+ 45,582	▲ 1,894	+ 63,674	▲ 610	+ 88	▲ 104

### ② 基幹作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)	
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね
平成27年度	98,950	85,805	72,176	121,528	37,860	4,206	79,462	44,098	422,556	25,019	471
平成26年度	97,605	80,231	72,054	67,925	30,669	3,371	33,885	45,996	363,810	25,899	363
対前年度比較	+ 1,345	+ 5,574	+ 123	+ 53,602	+ 7,190	+ 835	+ 45,577	▲ 1,898	+ 58,746	▲ 879	+ 108

### ③ 二毛作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)	
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね
平成27年度	71,640	27,211	31,057	5	—	—	5	2,059	131,973	9,106	114
平成26年度	69,846	25,460	29,683	1	—	1	—	2,055	127,045	8,836	134
対前年度比較	+ 1,794	+ 1,751	+ 1,375	+ 4	—	▲ 1	+ 5	+ 4	+ 4,928	+ 269	▲ 20

## 水田活用の直接支払交付金の支払面積等(2)

- 平成26年度から導入した米粉用米及び飼料用米の数量払い分の対象面積、数量、平均単収については、
  - (ア) 米粉用米では、4千ha（1千ha増）、2万3千トン（5千トン増）539kg/10a。
  - (イ) 飼料用米では、7万8千ha（4万5千ha増）、43万2千トン（25万トン増）、555kg/10a。

### (3) 米粉用米、飼料用米(数量払い分)

	米粉用米			飼料用米		
	面積(ha)	数量(t)	単収(kg/10a)	面積(ha)	数量(t)	単収(kg/10a)
平成27年度	4,180	22,519	539	77,731	431,696	555
平成26年度	3,336	18,014	540	32,790	181,769	554
対前年度比較	+ 844	+ 4,505	▲ 1	+ 44,942	+ 249,927	+ 1

注) 飼料用米等の数量払いは平成26年度から実施している。面積は、数量払いで交付した面積であるため、前記戦略作物の支払面積と異なっている。数量は、農産物検査機関による数量確認を受けた数量、単収は上記「数量」/「面積」により算定。数量払いの実績には、農産物検査を受けていない取組及び飼料用米を生もみで出荷又は利用する取組の面積及び数量は含まない。

### (4) 耕畜連携助成

(単位: ha)

	飼料用米 のわら 利用	水田放牧	資源循環 の取組	合計
平成27年度	19,866	1,299	25,636	46,800
平成26年度	9,776	1,271	20,944	31,992
対前年度比較	+ 10,090	+ 28	+ 4,692	+ 14,808

- 支払対象者数は82万件で、平成26年度に比べて5万8千件減少。
- 支払面積は95万3千ha（10a控除前：103万9千ha）で、平成26年度に比べて4万3千ha減少。

### (5) 米の直接支払交付金の支払対象者数、支払面積

	支払対象者数 (件)				支払面積 (ha)	(参考)
		個人	法人	集落営農		支払面積 10a控除前 (ha)
平成27年度	820,373	808,023	7,806	4,544	953,064	1,039,251
平成26年度	877,996	866,303	7,048	4,645	996,210	1,089,278
対前年度比較	▲ 57,623	▲ 58,280	+ 758	▲ 101	▲ 43,146	▲ 50,027

## (2) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

### 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

【平成29年度概算要求額：823(753)億円（所要額）】

米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）は、農家抛出を伴う経営に着目したセーフティーネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。

#### (1) 交付対象者

支援の対象となる農業者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です（いずれも規模要件はありません）。

※ 集落営農の要件は、2要件（組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施）に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

#### (2) 対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょです。

※1 ビール麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象となりません。  
※2 てん菜、でん粉原料用ばれいしょは、北海道で生産されるものが対象です。

#### 【10a当たり標準的収入額とは】

通常年に想定される収入額として、前年産以前5カ年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3カ年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

#### 【10a当たり当年産収入額とは】

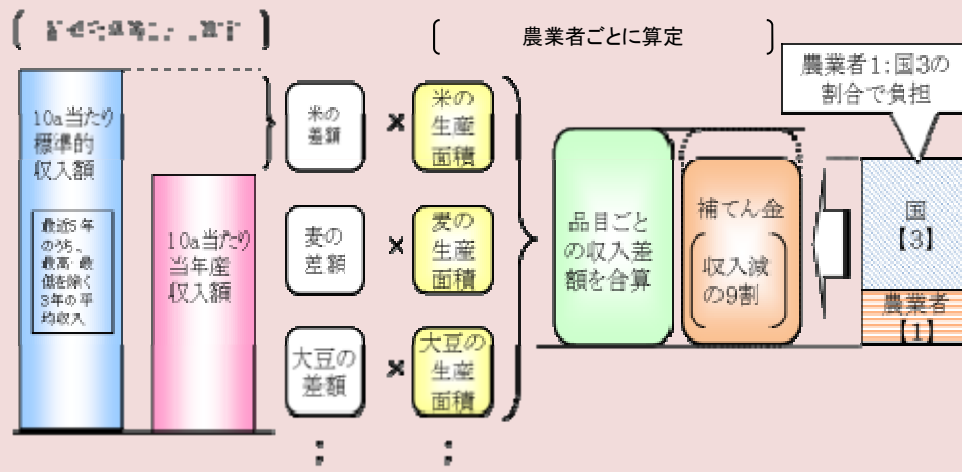
当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

#### (3) ナラシ対策の仕組み

- 農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計（当年産収入額）が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。

$$\text{補てん額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9$$

- 補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
- このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の抛出が必要となります。
- 補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。





(参考) 平成27年産ナラシ対策の支払い実績 (平成28年8月31日現在)

全 国 都 道 府 県	加入件数 (件)	支払件数 (件)	補てん総額 (億円)	(参考1) ※	(参考2) ※	
				米の10a当たり 補てん単価 (円/10a)	米加入面積10haの 場合の補てん額の推計 (万円)	
全 国	108,733	93,891	332.33	9,418	94	
北 海 道	19,968	8,872	29.14	4,283	42	
東 北	青 森 県	5,283	4,993	9.89	6,995	69
	岩 手 県	3,381	3,175	8.20	5,086	50
	宮 城 県	4,340	4,229	19.98	7,931	79
	秋 田 県	8,746	8,441	19.52	5,943	59
	山 形 県	7,698	7,451	7.86	2,893	28
	福 島 県	4,779	4,642	17.42	12,005	120
関 東	茨 城 県	3,263	3,074	14.42	17,913	179
	栃 木 県	5,141	4,989	20.47	13,354	133
	群 馬 県	958	931	1.79	2,502	25
	埼 玉 県	1,265	1,188	2.62	10,642	106
	千 葉 県	1,082	1,050	5.63	16,495	164
	東 京 都	4	3	0.00	8,568	85
	神 奈 川 県	125	121	0.14	10,647	106
	山 梨 県	137	123	0.28	11,545	115
	長 野 県	1,412	1,344	10.01	15,093	150
	静 岡 県	338	328	2.71	12,411	124
北 陸	新 潟 県	12,617	12,440	53.45	11,598	115
	富 山 県	1,509	1,320	6.08	5,788	57
	石 川 県	1,776	1,719	10.03	10,702	107
	福 井 県	1,172	1,094	6.78	9,079	90
東 海	岐 阜 県	681	654	4.26	9,270	92
	愛 知 県	641	608	6.57	9,900	99
	三 重 県	933	913	6.00	10,133	101
近 畿	滋 賀 県	2,406	2,363	13.19	12,606	126
	京 都 府	334	306	0.88	9,878	98
	大 阪 府	29	25	0.01	9,081	90
	兵 庫 県	1,095	916	1.45	7,844	78
	奈 良 県	91	85	0.14	14,604	146
	和 歌 山 県	77	68	0.04	8,207	82
中 国 ・ 四 国	鳥 取 県	435	391	1.95	12,343	123
	島 根 県	749	734	4.83	11,895	118
	岡 山 県	903	865	3.34	15,352	153
	広 島 県	545	516	3.82	10,839	108
	山 口 県	845	817	2.84	7,483	74
	徳 島 県	231	208	0.40	13,037	130
	香 川 県	563	540	3.18	13,662	136
	愛 媛 県	644	615	2.29	15,634	156
	高 知 県	283	270	0.48	11,126	111
九 州	福 岡 県	1,995	1,924	9.15	6,103	61
	佐 賀 県	1,613	1,554	7.26	5,236	52
	長 崎 県	862	772	0.51	3,795	37
	熊 本 県	3,569	3,350	6.53	6,843	68
	大 分 県	1,410	1,306	2.74	10,157	101
	宮 崎 県	1,791	1,601	2.27	14,072	140
	鹿 児 島 県	919	873	1.74	6,962	69
沖 縄 県	95	90	0.05	2,052	20	

(注1) 加入件数は、平成27年7月31日時点の積立金納付者の件数である。

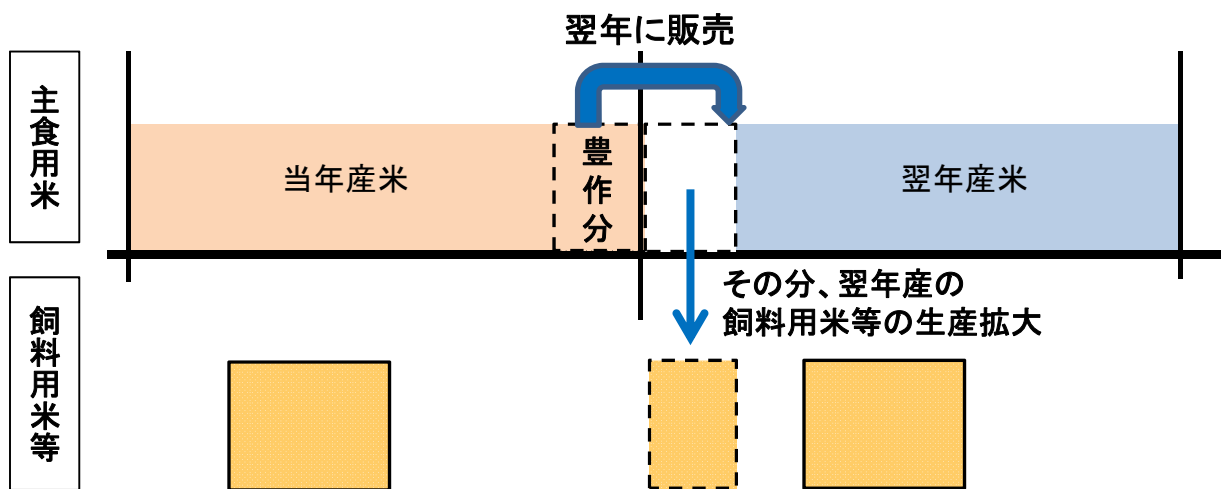
(注2) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

※ 米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、(参考2)の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、1万円未満は切り捨てている。

### (3) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

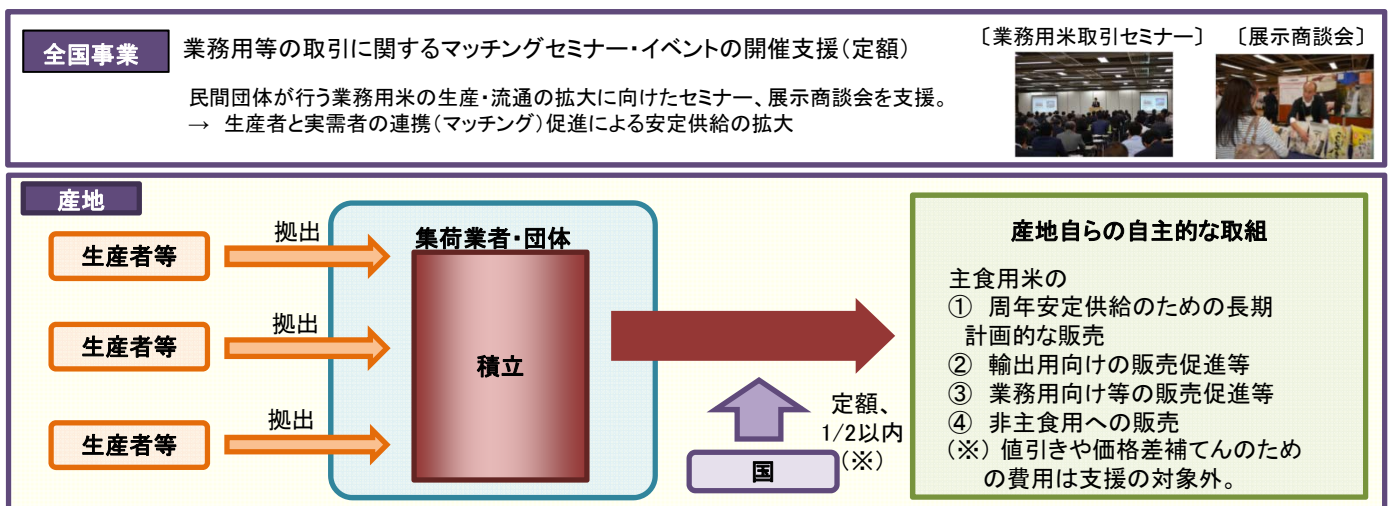
#### ① 主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：29年度概算要求額50億円（対前年同額））
- 当事業には、平成27年度には17道県、平成28年には30道県以上が参加しており、出来秋の需給対策として、今後とも本事業の継続・推進を図る。
- 平成30年産に向けては、必要がある場合に、この支援措置を活用して、豊作分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。  
（水田活用の直接支払交付金：29年度概算要求額 3,322億円（対前年+245億円））



#### ② 米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム

- 業務用等の取引に関するマッチングセミナー・イベントの開催に対して支援。
- 産地の自主的な取組により、需要に応じた生産・販売が行われる環境整備を図る観点から、気象の影響等により必要が生じた場合には、産地の判断により、主食用米を長期計画的に販売する取組や輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施する体制を構築していくことが必要。
- あらかじめ生産者等が積立てを行い、産地の取組を実施する場合に国も一定の支援。



また、取引参加者の利便性を向上させるため、現物市場が共同でシステムの開発・導入を行う場合等に支援。

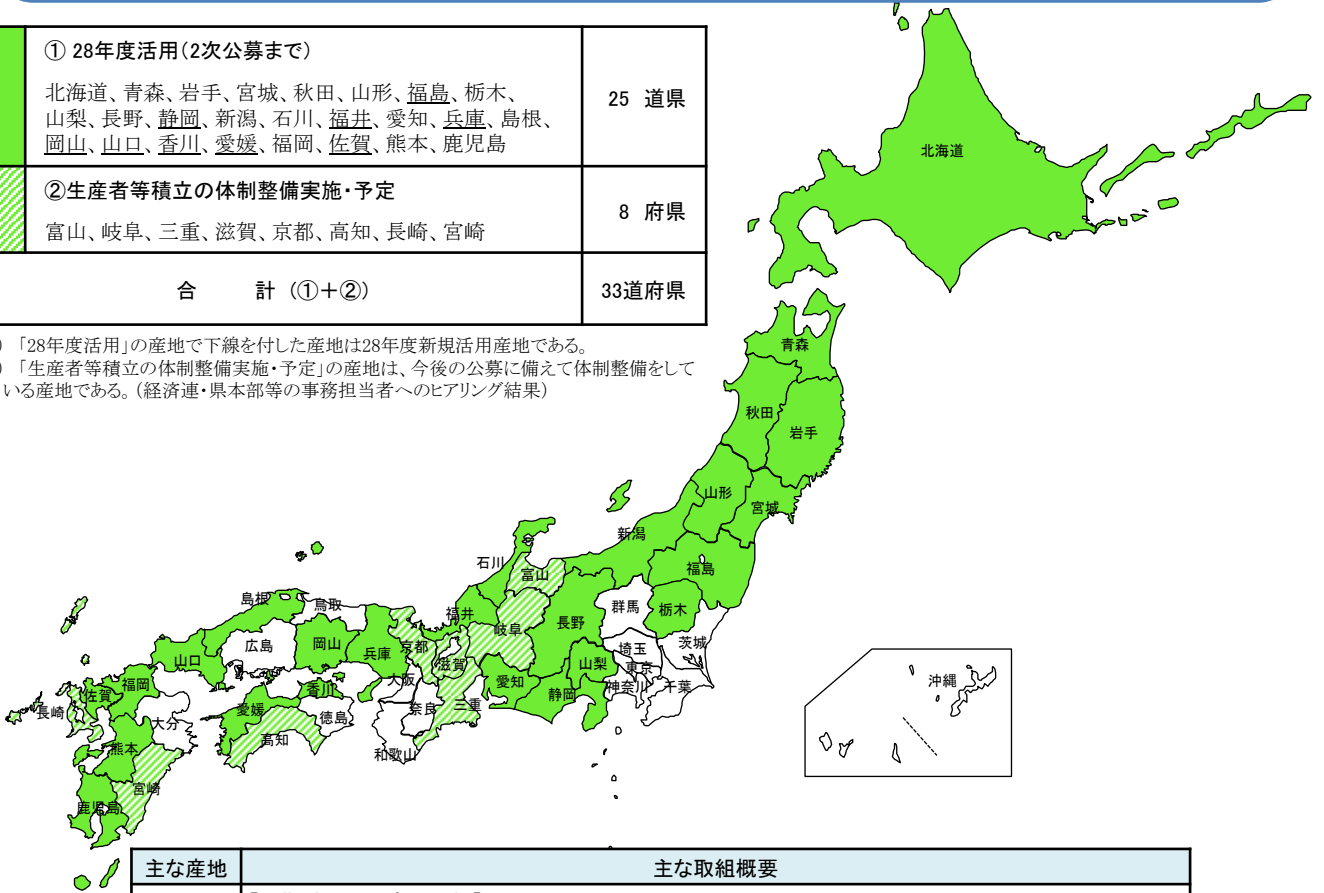
③ 米穀周年供給・需要拡大支援事業活用状況（28年度2次公募後）

米穀周年供給・需要拡大支援事業の活用状況は、

- 平成27年度では、17道県、18事業者が活用。
- 平成28年度では、現時点で25道県、27事業者が活用しており、出来秋の需給対策として、今後とも本事業を継続・推進。

① 28年度活用(2次公募まで)	25 道県
北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、栃木、山梨、長野、静岡、新潟、石川、福井、愛知、兵庫、島根、岡山、山口、香川、愛媛、福岡、佐賀、熊本、鹿児島	
②生産者等積立の体制整備実施・予定	8 府県
富山、岐阜、三重、滋賀、京都、高知、長崎、宮崎	
合 計 (①+②)	33道府県

注1) 「28年度活用」の産地で下線を付した産地は28年度新規活用産地である。  
 注2) 「生産者等積立の体制整備実施・予定」の産地は、今後の公募に備えて体制整備をしている産地である。(経済連・県本部等の事務担当者へのヒアリング結果)



主な産地	主な取組概要
北海道	<b>【長期計画的販売の取組】</b> ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 <b>【輸出向けへの販売促進等の取組】</b> ・ 海外向け北海道米PRパンフレットの作成配布 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ キャラクター(マツコ・デラックス)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「ゆめびりか」のPR ・ 認知度向上に向けた情報収集、データ分析による販路拡大手法の検討
秋田	<b>【長期計画的な販売の取組】</b> ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ キャラクター(小芝 風花)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「あきたこまち」のPR ・ 食味分析データを用いた販売促進パンフレットの作成配布 ・ 外食事業者等が参加する各種商談会での試食等の実施
山形	<b>【輸出向けへの販売促進等の取組】</b> ・ 海外百貨店等での「つや姫」、「はえぬき」PRキャンペーンの開催 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ キャラクター(V6 長野 博)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「はえぬき」のPR ・ 販路拡大に向けたコンサルティング活動
栃木	<b>【長期計画的な販売の取組】</b> ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ 地元出身書道家(涼 風花)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「とちほのか」のPR ・ 公共交通機関のラッピングバス等を活用したPR
石川	<b>【長期計画的販売の取組】</b> ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 <b>【輸出向けへの販売促進等の取組】</b> ・ 現地市場等調査による実需者ニーズの把握や石川県産米パンフレットの作成配布 <b>【業務用向け等への販売促進等の取組】</b> ・ 各種メディアを活用した石川県産米のPR ・ 毎月2日を「おにぎりの日」に制定し、これを起点にした試食イベント等の開催

## VI 消費動向

### (1) 米の消費動向（米穀機構による調査）

〔○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。〕

- 米穀機構が公表している「米の消費動向」（平成28年10月）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月との比較で+6.4%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月との比較で+7.0%、中・外食は同+4.8%。

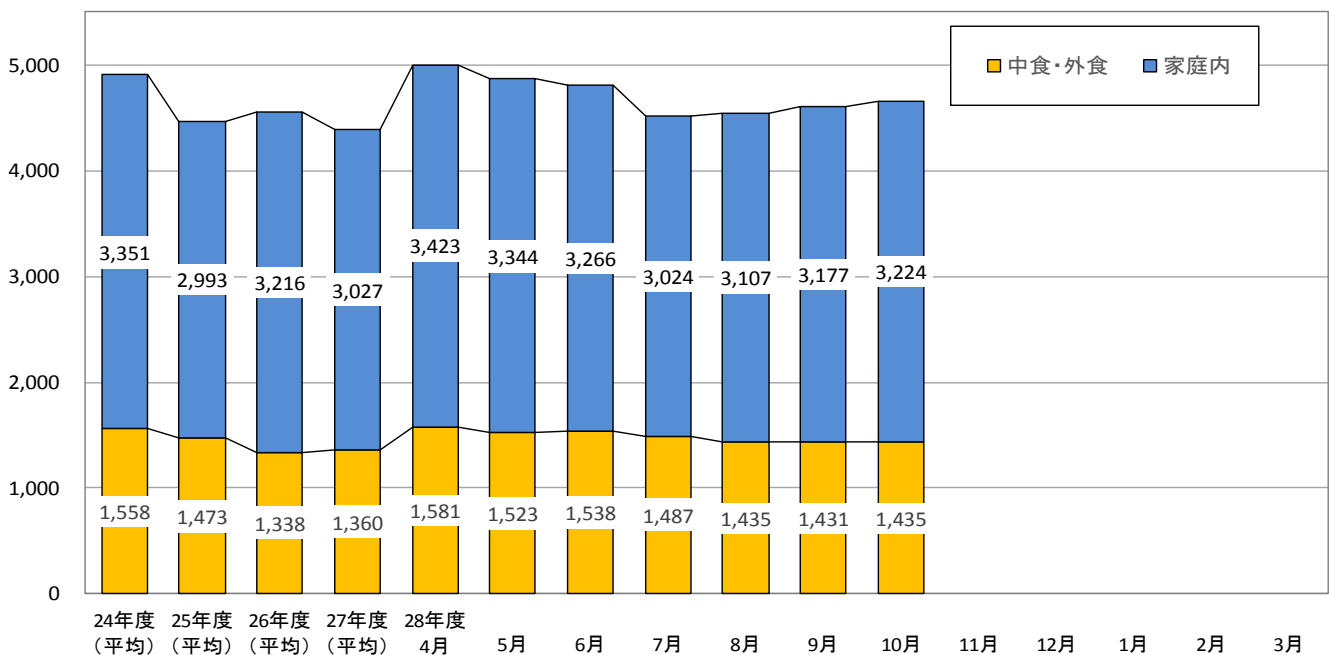
#### ① 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

（精米g/人、%）

		精米消費量					内訳(比率)					前年同月比(比率)					
		合計		中・外食			合計	家庭内		中・外食			合計	家庭内		中・外食	
		合計	家庭内	中食	外食	家庭内		中・外食	中食	外食	家庭内	中・外食		中食	外食		
24年度	-	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲ 4.4	▲ 3.1	▲ 6.1	
25年度	-	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲ 9.0	▲ 10.7	▲ 5.5	▲ 6.0	▲ 4.7	
26年度	-	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲ 9.2	▲ 10.4	▲ 7.5	
27年度	-	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲ 3.7	▲ 5.9	1.6	4.6	▲ 2.2	
28年度	4月	5,004	3,423	1,581	948	633	100.0	68.4	31.6	18.9	12.6	2.6	2.1	3.6	4.4	2.4	
	5月	4,868	3,344	1,523	915	608	100.0	68.7	31.3	18.8	12.5	5.5	7.9	0.7	▲ 1.5	3.9	
	6月	4,805	3,266	1,538	920	618	100.0	68.0	32.0	19.1	12.9	6.4	5.2	9.0	7.7	11.0	
	7月	4,511	3,024	1,487	872	615	100.0	67.0	33.0	19.3	13.6	6.1	3.4	12.1	11.9	12.2	
	8月	4,542	3,107	1,435	836	600	100.0	68.4	31.6	18.4	13.2	8.9	7.0	13.3	16.3	9.7	
	9月	4,608	3,177	1,431	841	590	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	4.5	3.2	7.7	11.5	2.6	
	10月	4,659	3,224	1,435	834	601	100.0	69.2	30.8	17.9	12.9	6.4	7.0	4.8	2.0	9.1	

#### 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移(グラフ)

（精米g/人）



出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成28年10月分の有効調査世帯数は2,130世帯。

2 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

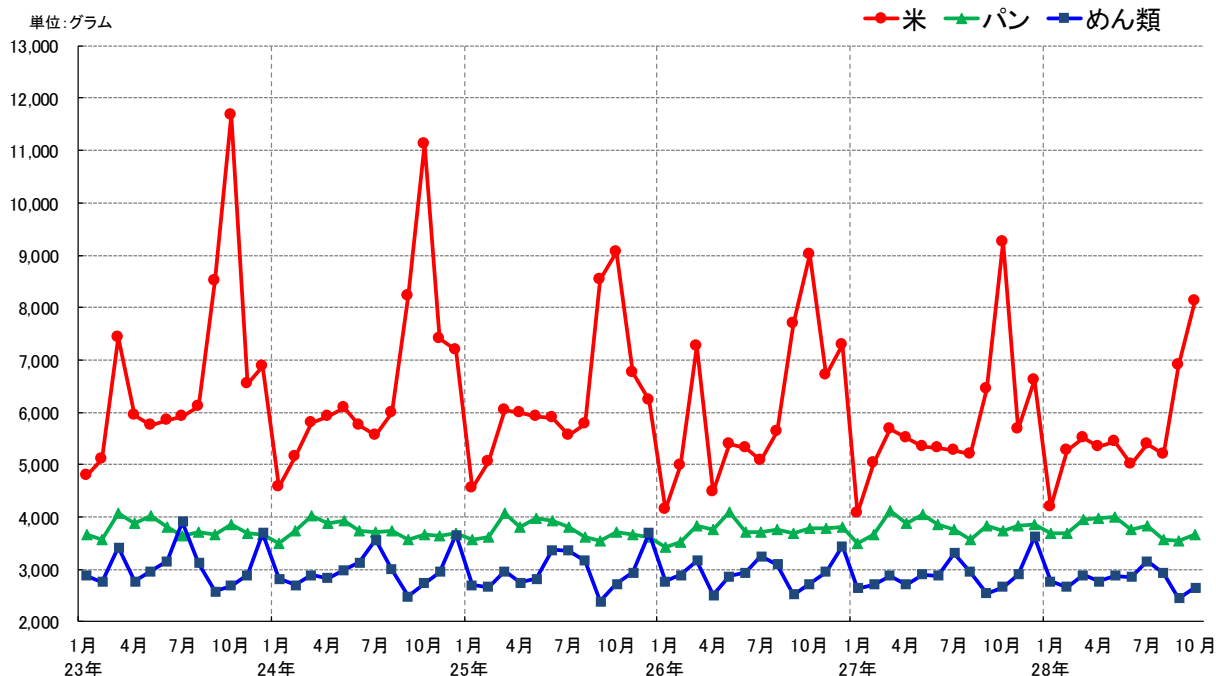
3 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

4 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

## (2) 購入数量の推移(家計調査)

- 総務省が公表している家計調査によると、平成28年10月の米の購入数量は、前年同月との比較で▲12.2%の8.1kg、パンについては▲2.2%の3.7kg、めん類については▲0.4%の2.7kg。

### 1世帯当たり購入数量の推移



### (表) 1世帯当たり購入数量の推移

(単位:グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
平成27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
平成28年1月	4,180	103.0%	3,693	105.7%	2,771	105.0%
2月	5,280	105.0%	3,694	100.7%	2,661	98.2%
3月	5,520	97.0%	3,961	96.1%	2,886	100.2%
4月	5,340	97.1%	3,978	102.5%	2,776	102.3%
5月	5,430	101.5%	3,991	98.8%	2,884	99.3%
6月	5,000	94.0%	3,767	97.9%	2,860	99.5%
7月	5,390	102.5%	3,833	101.9%	3,153	95.2%
8月	5,210	100.2%	3,560	99.9%	2,924	99.1%
9月	6,910	107.3%	3,536	92.2%	2,444	96.0%
10月	8,120	87.8%	3,653	97.8%	2,652	99.6%

資料：総務省「家計調査」

注：1 二人以上の世帯の数値である。

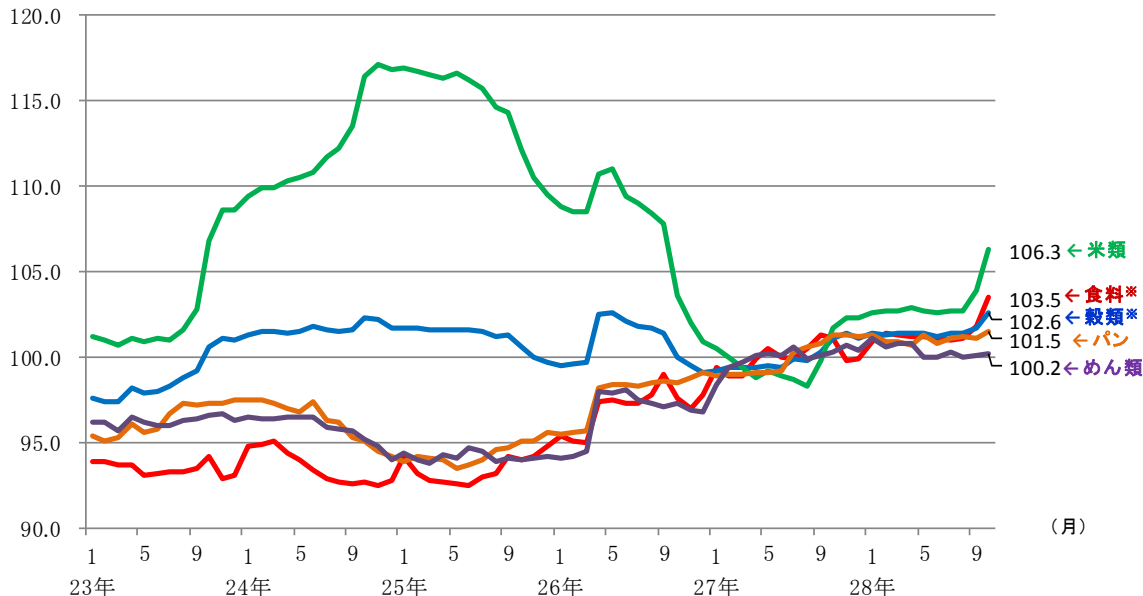
2 平成20年から平成27年については、年間の購入数量を示す。

3 米は精米ベースである。

### (3) 消費者物価指数（27年基準）の推移

- ・ 総務省が公表している消費者物価指数によると、平成28年10月の米類の指数は、先月と+2.3の106.3ポイント。
- ・ なお、前年同月との比較では+4.6ポイント。

消費者物価指数の推移



注：1 図中の実線は、平成27年の平均価格を100とした数値となる。  
 2 図中の数値は、平成28年10月の消費者物価指数となる。  
 3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

(表) 消費者物価指数の推移（対前年同月比）

(平成27年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成17年	90.9	▲0.9%	98.9	▲6.6%	117.7	▲13.3%	118.3	▲12.9%	88.1	▲1.1%	88.5	▲0.8%
平成18年	91.3	0.5%	97.2	▲1.7%	114.1	▲3.1%	114.7	▲3.0%	88.0	▲0.1%	87.4	▲1.2%
平成19年	91.6	0.3%	96.7	▲0.5%	112.1	▲1.8%	112.8	▲1.6%	88.6	0.7%	87.0	▲0.5%
平成20年	93.9	2.6%	102.9	6.4%	110.7	▲1.3%	111.4	▲1.3%	99.8	12.6%	97.2	11.7%
平成21年	94.1	0.2%	103.7	0.8%	111.1	0.4%	111.6	0.2%	100.1	0.3%	98.8	1.7%
平成22年	93.9	▲0.3%	100.4	▲3.2%	107.2	▲3.5%	107.7	▲3.5%	96.2	▲3.9%	97.0	▲1.9%
平成23年	93.5	▲0.4%	98.8	▲1.6%	103.0	▲4.0%	103.4	▲4.0%	96.4	0.2%	96.2	▲0.8%
平成24年	93.6	0.1%	101.7	3.0%	112.4	9.2%	113.3	9.6%	96.3	▲0.1%	95.8	▲0.4%
平成25年	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
平成26年	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
平成27年	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
平成28年1月	100.9	1.5%	101.4	2.2%	102.6	2.1%	102.7	2.1%	101.3	2.4%	101.1	2.7%
2月	101.4	2.5%	101.3	1.9%	102.7	2.7%	102.7	2.7%	100.9	2.0%	100.6	1.2%
3月	101.3	2.5%	101.4	2.0%	102.7	3.3%	102.8	3.4%	100.9	1.9%	100.8	1.2%
4月	101.2	1.3%	101.4	2.0%	102.9	4.1%	102.9	4.2%	100.7	1.6%	100.8	0.7%
5月	101.2	0.7%	101.4	2.0%	102.7	3.5%	102.7	3.6%	101.3	2.2%	100.0	▲0.2%
6月	101.1	1.1%	101.2	1.8%	102.6	3.8%	102.7	3.9%	100.8	1.6%	100.0	0.0%
7月	101.0	1.1%	101.4	1.5%	102.7	4.1%	102.8	4.2%	101.1	0.8%	100.3	▲0.3%
8月	101.1	0.6%	101.4	1.6%	102.7	4.5%	102.8	4.6%	101.2	0.6%	100.0	0.1%
9月	101.8	0.6%	101.7	1.4%	103.9	4.1%	104.1	4.3%	101.1	0.3%	100.1	0.0%
10月	103.5	2.3%	102.6	1.4%	106.3	4.6%	106.6	4.8%	101.5	0.2%	100.2	▲0.2%

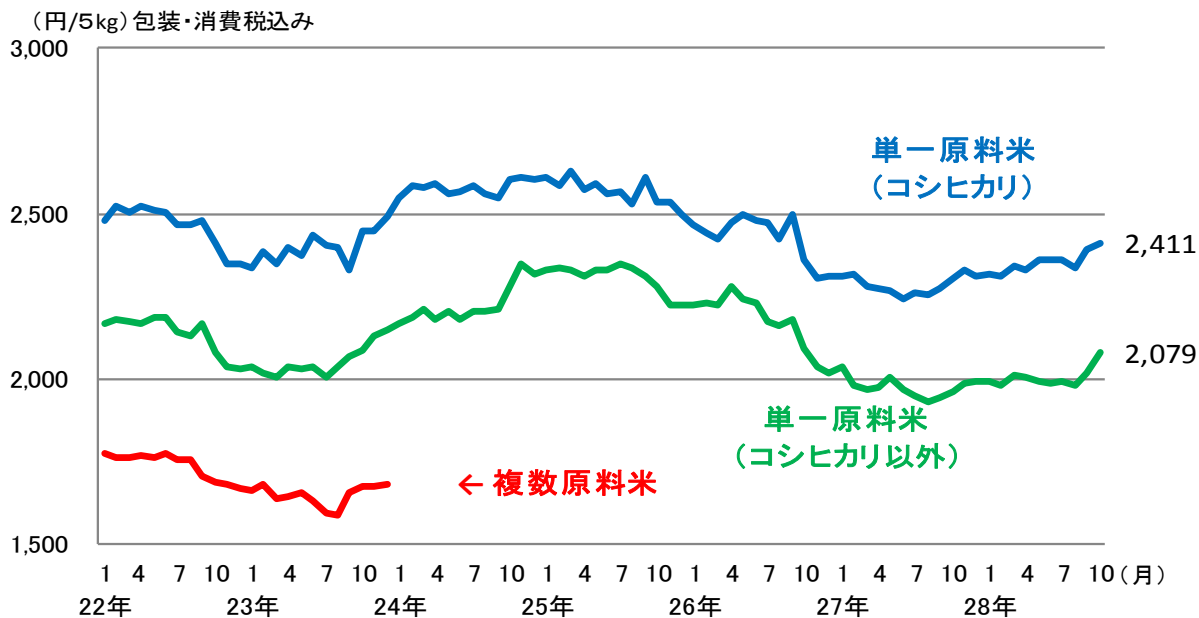
資料： 総務省「消費者物価指数」（平成27年基準）

- 注：1 表中の数値は、平成27年の平均価格を100として指数化したものである。  
 2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。  
 3 穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。  
 4 平成17年から平成27年のデータは年平均、平成28年1月以降は月次データを用いている。

#### (4) 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、平成28年10月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、単一原料米（コシヒカリ）で、前月より+0.8%、前年同月より+4.5%の2,411円。
- 単一原料米（コシヒカリ以外）は、前月より+3.0%、前年同月より+6.0%の2,079円。

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

(単位：円/5kg)

	うるち米				
	単一原料米 (コシヒカリ)	対前年 (同月)比	単一原料米 (コシヒカリ以外)	対前年 (同月)比	複数原料米
平成17年	2,804	-	2,375	-	2,040
平成18年	2,744	▲2.1%	2,341	▲1.4%	1,996
平成19年	2,670	▲2.7%	2,288	▲2.3%	1,950
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	-
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	-
平成26年	2,428	▲5.4%	2,173	▲5.8%	-
平成27年	2,285	▲5.9%	1,973	▲9.2%	-
平成28年1月	2,318	0.3%	1,990	▲2.2%	-
2月	2,309	▲0.2%	1,980	▲0.1%	-
3月	2,343	2.8%	2,008	2.0%	-
4月	2,329	2.6%	2,005	1.7%	-
5月	2,357	4.1%	1,994	▲0.4%	-
6月	2,357	5.3%	1,985	0.8%	-
7月	2,360	4.3%	1,991	2.3%	-
8月	2,333	3.6%	1,980	2.5%	-
9月	2,391	5.1%	2,019	4.0%	-
10月	2,411	4.5%	2,079	6.0%	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

2：特売を除いた価格である。

3：精米ベースである。

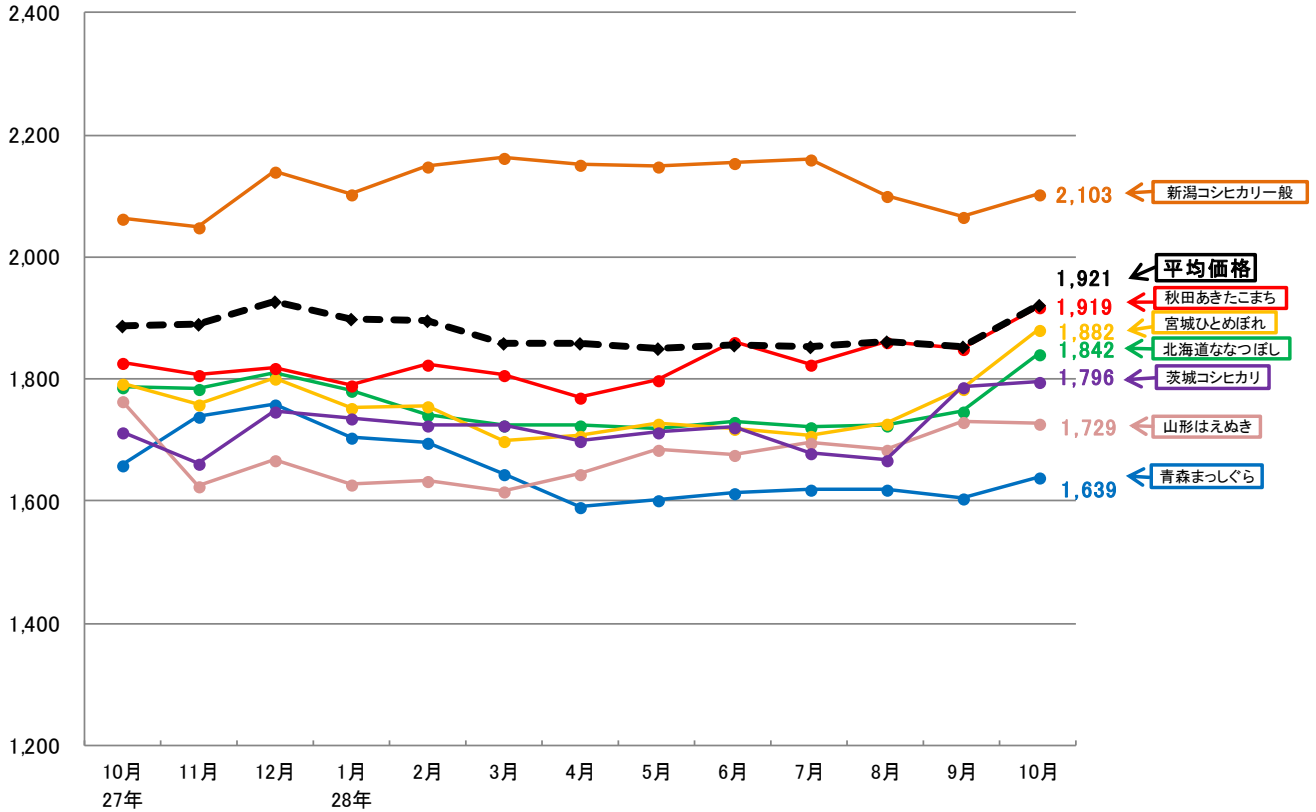
4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

## (5) 小売価格の推移 (POSデータ)

平成28年10月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、前月より+68円、前年同月より+34円(+1.8%)の1,921円。

(図)小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(税込み)



(表)小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄							全POS取引 平均価格
	北海道 ななつぼし	青森 まっしぐら	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	茨城 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	
27年10月	1,789	1,658	1,794	1,829	1,765	1,713	2,064	1,887
11月	1,784	1,738	1,759	1,808	1,626	1,662	2,050	1,891
12月	1,811	1,758	1,803	1,820	1,667	1,747	2,142	1,926
28年1月	1,782	1,705	1,754	1,791	1,629	1,737	2,104	1,897
2月	1,742	1,698	1,757	1,826	1,633	1,725	2,148	1,895
3月	1,726	1,645	1,700	1,807	1,618	1,726	2,163	1,859
4月	1,724	1,591	1,709	1,771	1,644	1,700	2,152	1,859
5月	1,718	1,603	1,728	1,798	1,686	1,714	2,148	1,849
6月	1,732	1,615	1,720	1,861	1,676	1,721	2,154	1,857
7月	1,721	1,621	1,707	1,826	1,697	1,679	2,160	1,852
8月	1,725	1,620	1,729	1,860	1,685	1,667	2,101	1,862
9月	1,746	1,604	1,785	1,849	1,732	1,789	2,065	1,853
<b>10月</b>	<b>1,842</b>	<b>1,639</b>	<b>1,882</b>	<b>1,919</b>	<b>1,729</b>	<b>1,796</b>	<b>2,103</b>	<b>1,921</b>
対前月比	5.5%	2.2%	5.4%	3.8%	▲0.2%	0.4%	1.8%	3.7%
対前年同月比	3.0%	▲1.1%	4.9%	4.9%	▲2.0%	4.8%	1.9%	1.8%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注：1 (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

5 価格に含む消費税は8%である。



## VII MA米（一般・SBS）の動向

### (1) MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計	うち一般輸入	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	19	11	3	9	1	43	42	1
平成8年度	23	14	4	9	1	51	49	2
平成9年度	29	15	5	9	1	60	54	6
平成10年度	31	15	8	11	3	68	55	12
平成11年度	34	16	9	12	2	72	59	12
平成12年度	36	17	10	12	2	77	63	12
平成13年度	36	15	14	11	1	77	66	10
平成14年度	36	15	11	10	4	77	71	5
平成15年度	36	15	11	9	5	76	65	10
平成16年度	36	19	10	2	10	77	66	9
平成17年度	36	19	8	2	12	77	66	10
平成18年度	36	18	8	5	10	77	65	10
平成19年度	36	24	8	—	1	70	59	10
平成20年度	43	26	7	—	1	77	66	10
平成21年度	36	33	7	—	1	77	66	10
平成22年度	36	35	2	4	1	77	73	4
平成23年度	36	24	6	7	4	77	66	10
平成24年度	36	28	5	6	1	77	66	10
平成25年度	36	35	0	4	2	77	70	6
平成26年度	36	33	6	1	1	77	75	1
平成27年度	36	34	6	0	1	77	73	3
平成28年度 (11月末現在)	22	20	0	0	0	43	42	1

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は万実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 万実トンと万玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

(2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成28年度)

(単位：トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成28年4～6月分	15,460	平成28年4～7月分	2,910
4月分	300	平成28年8～11月分	
5月分	875	平成28年12～平成29年3月分	
6月分	1,612		
7～9月分	24,101		
7月分	426		
8月分	676		
9月分	953		
10～12月分			
10月分			
11月分			
12月分			
平成29年1～3月分			
1月分			
2月分			
3月分			
小計	44,403	小計	2,910
合計	47,313		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

(3) SBS輸入米の見積合わせ結果(平成28年度)

(単位：実トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成28年9月7日)	一般米	5,266	508	80		36		1,526		7,416
	砕精米	2,356	100	300	144	100				3,000
合計	一般米	5,266	508	80	0	36	0	1,526	0	7,416
	砕精米	2,356	100	300	144	100	0	0	0	3,000

平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	1,326	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	100	0	4,316
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	2,244	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	150	0	16,452

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成23～28年度

## VIII その他

### (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果

- 平成28年産水稻うるち玄米の平成28年10月31日現在の検査数量は、前年産の同月と比べ+2%の356万トン。
- 1等米比率については、前年産より+1.9ポイントの84%。

#### ① 検査数量の推移(累計)

単位:千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
24	13	223	1,732	3,750	4,156	4,313	4,411	4,532	4,657	5,041
25	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,868
参考:前年比	93%	96%	86%	93%	93%	93%	93%	93%	93%	92%
28	18	231	1,656	3,564						
参考:前年比	161%	105%	108%	102%						

注:1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

#### ② 検査数量及び等級比率(年産別)

単位:トン、%

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,868,436	4,016,542	687,770	82,648	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28(注2)	3,563,813	3,008,082	482,308	43,105	30,317	84.4	13.5	1.2	0.9

資料: 農林水産省とりまとめ

注:1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 28年産米については、平成28年10月31日現在(速報値)。

## (2) 平成28年産水陸稲の作付面積及び収穫量

全 国 都 道 府 県	水 陸 稲 計		水				
	作付面積 (子実用)	収 穫 量 (子実用)	作付面積 (子実用) ①	10 a 当たり 収 量 ②	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別		
					10 a 当たり 収 量 ③	10 a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④
	ha	t	ha	kg	kg	kg	
全 国 (1)	1,479,000	8,044,000	1,478,000	544	531	517	103
北 海 道 (2)	105,000	578,600	105,000	551	536	524	102
青 森 (3)	42,600	257,300	42,600	604	590	569	104
岩 手 (4)	50,300	271,600	50,300	540	530	519	102
宮 城 (5)	66,600	369,000	66,600	554	542	517	105
秋 田 (6)	87,200	515,400	87,200	591	577	554	104
山 形 (7)	65,000	395,200	65,000	608	597	578	103
福 島 (8)	64,200	356,300	64,200	555	538	526	102
茨 城 (9)	70,000	362,500	69,300	521	509	516	99
栃 木 (10)	57,600	316,900	57,400	551	541	528	102
群 馬 (11)	15,400	77,800	15,400	505	489	479	102
埼 玉 (12)	31,700	156,600	31,700	494	481	475	101
千 葉 (13)	55,800	305,900	55,700	549	538	525	102
東 京 (14)	152	629	151	415	406	401	101
神 奈 川 (15)	3,120	15,400	3,120	495	484	478	101
新 潟 (16)	116,800	678,600	116,800	581	565	524	108
富 山 (17)	38,100	215,600	38,100	566	555	525	106
石 川 (18)	25,600	136,700	25,600	534	525	504	104
福 井 (19)	25,100	134,300	25,100	535	518	499	104
山 梨 (20)	4,990	27,300	4,990	547	537	532	101
長 野 (21)	32,700	204,000	32,700	624	615	609	101
岐 阜 (22)	22,200	107,900	22,200	486	476	478	100
静 岡 (23)	16,000	84,000	16,000	525	519	513	101
愛 知 (24)	27,700	144,300	27,700	521	512	499	103
三 重 (25)	27,600	144,100	27,600	522	511	488	105
滋 賀 (26)	31,900	170,300	31,900	534	525	506	104
京 都 (27)	14,800	76,400	14,800	516	507	501	101
大 阪 (28)	5,310	26,800	5,310	505	491	480	102
兵 庫 (29)	37,000	185,400	37,000	501	490	489	100
奈 良 (30)	8,710	45,700	8,710	525	512	500	102
和 歌 山 (31)	6,720	34,100	6,720	507	496	484	102
鳥 取 (32)	12,700	66,300	12,700	522	515	504	102
島 根 (33)	17,700	93,500	17,700	528	521	500	104
岡 山 (34)	30,400	162,000	30,400	533	521	515	101
広 島 (35)	24,100	128,000	24,100	531	523	512	102
山 口 (36)	21,000	107,500	21,000	512	502	492	102
徳 島 (37)	11,700	57,300	11,700	490	487	469	104
早 期 栽 培 (38)	4,470	21,500	4,470	480	478	459	104
普 通 栽 培 (39)	7,180	35,700	7,180	497	494	475	104
香 川 (40)	13,200	67,100	13,200	508	504	493	102
愛 媛 (41)	14,200	72,100	14,200	508	501	493	102
高 知 (42)	11,800	54,000	11,800	458	456	454	100
早 期 栽 培 (43)	6,580	31,600	6,580	481	479	476	101
普 通 栽 培 (44)	5,180	22,200	5,180	428	425	427	100
福 岡 (45)	36,000	180,400	36,000	501	481	479	100
佐 賀 (46)	24,800	129,200	24,800	521	504	503	100
長 崎 (47)	12,000	59,500	12,000	496	481	462	104
熊 本 (48)	33,800	178,100	33,800	527	508	497	102
大 分 (49)	21,300	107,400	21,300	504	481	480	100
宮 崎 (50)	16,800	83,700	16,800	498	485	483	100
早 期 栽 培 (51)	...	...	6,730	461	454	470	97
普 通 栽 培 (52)	...	...	10,000	523	505	491	103
鹿 児 島 (53)	21,000	101,400	21,000	483	467	469	100
早 期 栽 培 (54)	...	...	4,610	429	416	434	96
普 通 栽 培 (55)	...	...	16,400	498	481	479	100
沖 縄 (56)	785	2,270	785	289	286	305	94
第 一 期 稲 (57)	560	1,970	560	351	348	365	95
第 二 期 稲 (58)	225	306	225	136	132	161	82

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
- 3 全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 4 (参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a当たり収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、各全国農業地域に所在する農家等が使用しているふるい目幅について、その目幅が大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

収 穫 量 (子実用) ⑥=①×②	稲		陸		稲		(参 考) 10 a 当たり 平均収量 対 比	
	参 考		作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)			
	主食用 作付面積 ⑦	収 穫 量 (主 食 用) ⑧=⑦×②						
t	ha	t	ha	kg	t	%		
8,042,000	1,381,000	7,496,000	944	218	2,060	94	(1)	
578,600	99,000	545,500	-	-	-	nc	(2)	
257,300	36,800	222,300	2	198	4	79	(3)	
271,600	47,100	254,300	x	x	x	x	(4)	
369,000	63,600	352,300	-	-	-	-	(5)	
515,400	69,300	409,600	x	x	x	x	(6)	
395,200	56,800	345,300	-	-	-	-	(7)	
356,300	60,100	333,600	2	175	4	101	(8)	
361,100	67,200	350,100	652	212	1,380	91	(9)	
316,300	53,600	295,300	232	239	554	103	(10)	
77,800	14,100	71,200	7	157	11	97	(11)	
156,600	31,200	154,100	4	139	5	103	(12)	
305,800	53,900	295,900	31	246	76	134	(13)	
627	151	627	1	160	2	119	(14)	
15,400	3,110	15,400	5	207	10	119	(15)	
678,600	101,500	589,700	2	230	5	105	(16)	
215,600	33,800	191,300	-	-	-	nc	(17)	
136,700	23,200	123,900	-	-	-	nc	(18)	
134,300	23,600	126,300	-	-	-	nc	(19)	
27,300	4,940	27,000	-	-	-	nc	(20)	
204,000	31,700	197,800	-	-	-	nc	(21)	
107,900	21,700	105,500	-	-	-	-	(22)	
84,000	15,800	83,000	1	217	1	103	(23)	
144,300	26,900	140,100	-	-	-	-	(24)	
144,100	27,000	140,900	-	-	-	-	(25)	
170,300	30,200	161,300	-	-	-	nc	(26)	
76,400	14,300	73,800	-	-	-	-	(27)	
26,800	5,310	26,800	-	-	-	nc	(28)	
185,400	35,400	177,400	-	-	-	nc	(29)	
45,700	8,680	45,600	-	-	-	nc	(30)	
34,100	6,720	34,100	-	-	-	nc	(31)	
66,300	12,500	65,300	-	-	-	nc	(32)	
93,500	17,300	91,300	-	-	-	nc	(33)	
162,000	29,200	155,600	-	-	-	nc	(34)	
128,000	23,400	124,300	-	-	-	nc	(35)	
107,500	19,800	101,400	-	-	-	nc	(36)	
57,300	11,500	56,400	-	-	-	-	(37)	
21,500	...	...	-	-	-	nc	(38)	
35,700	...	...	-	-	-	nc	(39)	
67,100	13,200	67,100	-	-	-	nc	(40)	
72,100	14,200	72,100	-	-	-	nc	(41)	
54,000	11,600	53,100	-	-	-	nc	(42)	
31,600	...	...	-	-	-	nc	(43)	
22,200	...	...	-	-	-	nc	(44)	
180,400	35,400	177,400	-	-	-	nc	(45)	
129,200	24,600	128,200	-	-	-	nc	(46)	
59,500	12,000	59,500	-	-	-	-	(47)	
178,100	32,500	171,300	0	139	0	99	(48)	
107,400	21,100	106,300	-	-	-	-	(49)	
83,700	15,500	77,200	1	113	1	56	(50)	
31,000	...	...	...	...	...	nc	(51)	
52,300	...	...	...	...	...	nc	(52)	
101,400	20,200	97,600	3	143	4	67	(53)	
19,800	...	...	...	...	...	nc	(54)	
81,700	...	...	...	...	...	nc	(55)	
2,270	785	2,270	-	-	-	nc	(56)	
1,970	...	...	-	-	-	nc	(57)	
306	...	...	-	-	-	nc	(58)	

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6 陸稲の(参考)10a当たり平均収量対比とは、10a当たり平均収量(原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

## (別冊)「資料編」の目次

I	在庫情報	
	平成26・27年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成27年7月末から28年6月末) (速報)	1
II	米の価格情報	
	業者間取引の状況	12
	① 日本コメ市場 (随時取引の結果)	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス (取引会の結果)	
	③ (株) 加工用米取引センターの取引結果	
	④ (株) 日本農産情報の取引結果	
	⑤ 米の現物市場の状況	
III	主食用米以外 (輸出を含む)	
	(1) 加工用米及び新規需要米の取組状況等	15
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	③ 加工用米・新規需要米等の取組状況 (平成28年産、都道府県別)	
	(2) 飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	17
	(3) 政府備蓄米の運営	18
	備蓄米の買入入札の結果 (落札実績) (平成23~28年産)	
	(4) 商業用の米の輸出货量及び金額の推移	19
	(5) 主な増加要因 (輸出業者等からのヒアリング結果による)	20
	(6) 米菓の輸出货量及び金額の推移	21
	(7) 日本酒 (清酒) の輸出货量及び金額の推移	22
IV	消費動向	
	(1) 米の消費動向 (米穀機構による調査)	23
	(2) 小売価格の推移 (POSデータ、主な銘柄)	26
V	その他	
	(1) 米取引関係者の判断 (米穀機構による調査、平成28年11月分)	27
	(2) 平成27年産水陸稲の収穫量	32
	(3) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移 (全国)	35
	(4) 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量 (子実用) の年次別推移	35
	(5) 麦・大豆の需要情報	37
	① 29年産麦の産地別銘柄別入札結果	
	② 27年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
	(6) 野菜等の需給情報	43
	(7) 米の安定取引研究会報告書の概要	45

米に関するマンスリーレポート (本編・資料編) は、農林水産省のホームページからご覧いただけます。

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

## マンスリーレポートに関する問い合わせ先一覧

### 【農林水産省】

問い合わせ先	連絡先
政策統括官付農産企画課 ・企画班（林） ・米穀需給班（佐々木・石田・萱場）	03-6738-8973

### 【地方農政局等】

問い合わせ先	連絡先
北海道農政事務所 生産経営産業部 生産支援課	011-330-8807
東北農政局 生産部 生産振興課	022-221-6169
関東農政局 生産部 生産振興課	048-740-0100
北陸農政局 生産部 生産振興課	076-232-4302
東海農政局 生産部 生産振興課	052-223-4623
近畿農政局 生産部 生産振興課	075-414-9020
中国四国農政局 生産部 生産振興課	086-224-9411
九州農政局 生産部 生産振興課	096-300-6224
内閣府沖縄総合事務局 農林水産部 生産振興課	098-866-1653

### 【米に関する情報の公表をメールマガジンでお知らせしています！】

- 農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。
- 当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。
- メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。

#### 【メールマガジン配信登録】

農林水産省ホーム>報道広報>メールマガジン

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>